

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

エックスプリオール・オート

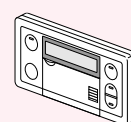
PRIOR

給湯暖房用熱源機

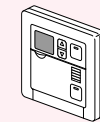
全自動タイプ 135-6000/6002/6005/6006型

お使いのリモコンをお確かめのうえ、該当ページをお読みください。

リモコン 138-3076/3077/3078型



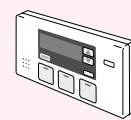
(浴室リモコン)



(台所リモコン)

※138-3079型の場合
この取扱説明書の138-3076/3077/3078型の操作説明と、B5版の138-3079型の取扱説明書を併せてお読みください。

リモコン 138-3060型



(浴室リモコン)



(台所リモコン)

※138-3062/3063/3064/3093/3094型の場合
*別冊B5版の【給湯暖房用熱源機の取扱説明書】は必要ありません。
*この取扱説明書の138-3060型の操作説明と、B5版の138-3062/3063/3064/3093/3094型それぞれの取扱説明書を併せてお読みください。

<BL認定品>

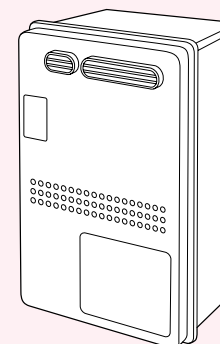
型式名

GTHM-1631AWX3H

GTHM-1631AWX3H-T

GTHM-1631AWX3H-TB

GTHM-1631AWX3H-H



(135-6000型)

取扱説明書 大阪ガス

このたびは大阪ガスの給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
- ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8632



SAQ8632

こんなことができます



お使いのリモコンの名称をお確かめください。

138-3076型
リモコン 138-3077型 の場合 リモコン 138-3060型 の場合
138-3078型

台所リモコンのフタに、138-3076型、138-3077型、138-3078型、138-3060型のいずれかの名称を記載しています。
その他別売リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書も併せてご覧ください。

お湯を出す

コージェネレーション設備や地域冷暖房設備であたためられたお湯に水を混ぜて、お好みの温度のお湯を出すことができます



お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。

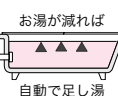
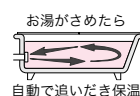
(目安の温度：℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など					給湯など					《高温》を表示	

※運転スイッチ「切」の時も、コージェネレーション設備や地域冷暖房設備であたためられたお湯を使用できます。(機器は燃焼しません)

23 53
・ 24 54
ページ

お風呂を自動で沸かす 残り湯を沸かし直す



自動保温、自動足し湯は沸き上がりから4時間以内
※保温時間は変更できます

26 56
ページ

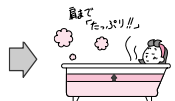
お風呂の追いだきをする



お風呂のお湯の温度を上げることができます。

32 62
ページ

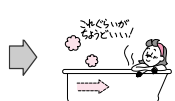
お風呂のお湯を増やす <足し湯>



お風呂のお湯量を増やすことができます。

33 63
ページ

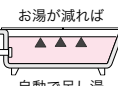
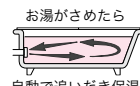
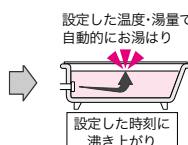
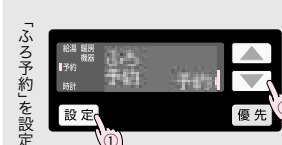
お風呂のお湯をぬるくする <さし水>



お風呂のお湯の温度を下げるすることができます。

34 64
ページ

お風呂の沸き上がり時刻を予約する



自動保温、自動足し湯は沸き上がりから4時間以内
※保温時間は変更できます

36 66
ページ

暖房する 浴室を暖房する



ご使用のリモコンによって暖房のしかたが異なります。

38 68
ページ

もくじ

こんなことができます	2
もくじ	3
はじめに/特徴/しくみ	4
必ずお守りください(安全上の注意)	6
各部のなまえとはたらき(機器本体)	11
初めてお使いになるときは	12

リモコン 138-3076型 138-3077型 138-3078型 をお使いの場合	リモコン 138-3060型 をお使いの場合
リモコンの特徴	13
各部のなまえとはたらき(リモコン)	14
浴室リモコン	14
台所リモコン 138-3076型	16
台所リモコン 138-3077型	18
台所リモコン 138-3078型	20
使いかた	
時計を合わせる	22
お湯を出す(運転スイッチ「切」でお湯を出す)	23
お湯を出す/お湯の温度を調節する (運転スイッチ「入」でお湯を出す)	24
おふろを自動で沸かす	26
残り湯を沸かし直す	29
おふろの温度を調節する	30
おふろの追いだきをする	31
おふろの追いだきをする(あつく)	32
おふろのお湯を増やす(たっぷり)	33
おふろのお湯をぬるくする(ぬるく)	34
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす	35
おふろのお湯をぬるくする(ぬるく)	35
ふろ配管クリーンについて	36
おふろの沸き上がり時刻を予約する	38
暖房する	40
暖房する時間帯を予約する (リモコンセット138-3077型の場合)	42
浴室を予備暖房する (リモコンセット138-3078型の場合)	44
リモコンでこんな設定ができます	
凍結による破損を予防する	80
日常の点検・お手入れのしかた	84
故障・異常かな?と思ったら	86
アフターサービスについて	93
主な仕様	94

はじめに

この製品は、予熱給水供給システムに対応した給湯暖房用熱源機です。
予熱給水供給システムとは、コージェネレーション設備や地域冷暖房設備で発生した熱を利用して
あたためられた水(以下、予熱給水)を住宅の給湯・お湯はりに利用するシステムです。

特徴

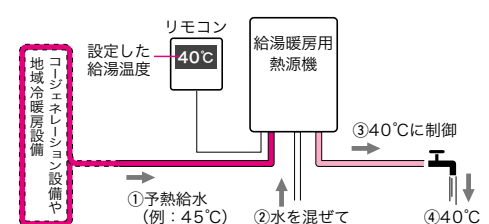
- ＊予熱給水を利用し、給湯・お湯はりの省エネルギーを実現します。
- ＊リモコンでお湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。(P24,54)
- ＊予熱給水を利用するため、リモコンの運転スイッチ「切」で給湯暖房用熱源機を燃焼させずにお湯
を使うこともできます。(P23,53)

しくみ

例：設定した給湯温度=40℃ 予熱給水の温度=45℃または30℃

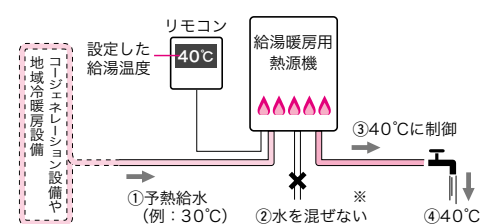
予熱給水の温度が、設定した給湯温度より高いとき

給湯暖房用熱源機の内部で予熱給水
と水を混ぜ、設定した給湯温度にし
てから、お湯を出します。
(給湯暖房用熱源機は燃焼しません)



予熱給水の温度が、設定した給湯温度より低いとき

給湯暖房用熱源機で予熱給水を設定
した給湯温度まで沸かしてからお湯
を出します。



※できるだけ安定したお湯を出す
ために水を混ぜる場合があります。

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

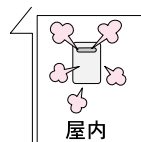
高温注意	感電注意	必ずおこなう	アース必要	禁止	火気禁止	接触禁止	ぬれ手禁止	分解禁止

危険



屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。



警告



ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。



(つづく)

(つづき)



異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

やけど予防のため。



入浴時も、浴そうの湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



シャワーやお湯の使用にお湯の温度が上がってきたら、使用を中止し、給湯栓を閉める

やけど予防のため。

予熱給水の温度が高いときに停電が起きたり電源ブレーカが落ちたりした場合、高温のお湯が出る可能性があります。



機器・給湯栓の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する

安全に使用していただくため。



修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。

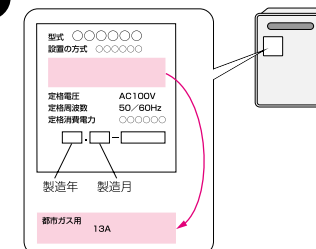


子供を浴室で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。



必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源で使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。
わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。



【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

低温やけどの原因になります。

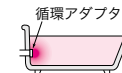


シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。



おふり沸かし、沸かし直し、追いだき時は、循環アダプター付近があつくならない



やけど予防のため。



お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターをはずして使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをするおそれがあります。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

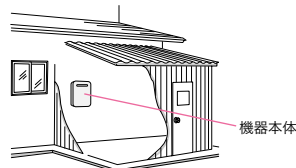
火災の原因になります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

- ❌ 増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

- ❌ スプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

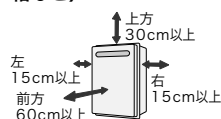
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

- ❌ 燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。

- ❗ 燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)



火災予防のため。

⚠️ 注意

- ⚡ 必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。

- ❌ 電源プラグはぬれた手でさわらない



感電の原因になります。

- ❌ 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

- ❗ 電源プラグのほこりはときどき取る

ほこりがたまると、火災の原因になります。

- ❗ 電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

- ❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。

- ❌ 太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどの原因になったり、機器が正常に作動しない場合があります。

(つづく)

(つづき)

- ❌ 使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない



やけど予防のため。

- ❗ 浴室の給湯栓には、サーモキシング方式の給湯栓を使用する

やけど防止のため。停電時や故障の際には高温のお湯が出る可能性があります。

- ❌ 給湯、シャワー、お風呂を沸かす、暖房以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

- ❌ 乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさがらない穴に物を詰めない



おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する

わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤・洗剤は使用しない

入浴剤や洗剤は、注意書きをよく読み、機器に影響のないものを使用する

入浴剤・洗剤は製品によっては機器の熱交換器が故障する原因になるものがあります。
入浴剤を使用して追いだきしたときに、異常音が出る場合はその入浴剤の使用をやめてください。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

浴そうのフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

停電後(または電源プラグを抜いたあと)は、設定した現在時刻を確認する

停電すると運転が停止し、また設定した現在時刻がリセットする場合があります。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水、または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

冬期は、凍結予防処置をする(☞P80~83)
水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P82,83)

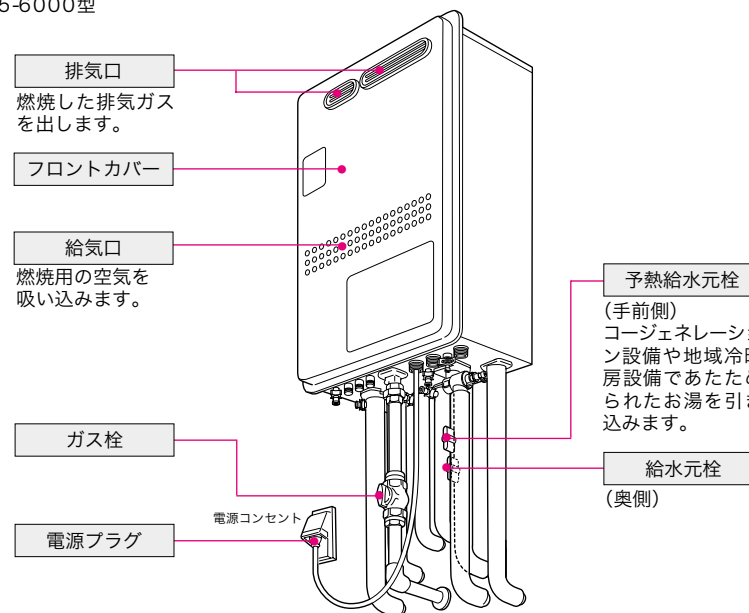
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする

雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋外設置壁掛形】
135-6000型



※上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

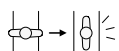
屋外設置形	PS設置前方排気形	PS設置後方排気形	PS設置上方排気形
	135-6002型	135-6005型	135-6006型

初めてお使いになるときは

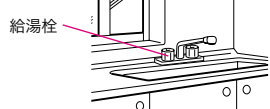
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～5の手順でおこなってください。

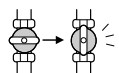
1 給水元栓と予熱給水元栓を全開にする。



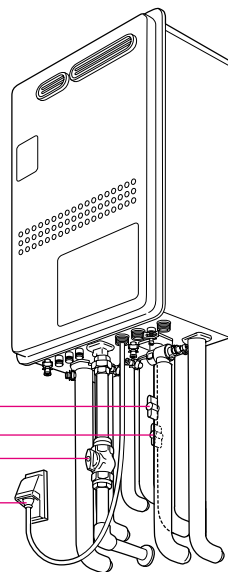
2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない



(例：135-6000型)

5 下記操作でポンプの呼び水をする。
※浴室リモコンで操作してください

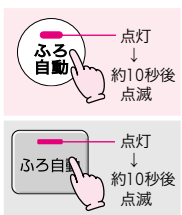
=138-3076型, 138-3077型, 138-3078型の場合

=138-3060型の場合

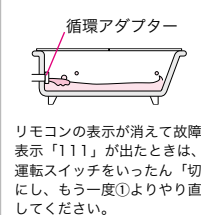
① 運転スイッチを「入」にする



② ふる自動スイッチを「入」にする



③ 浴そうの循環アダプターから水が出てくることを確認する



④ ふる自動スイッチを「切」にする



使いかた(リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

リモコンの特徴

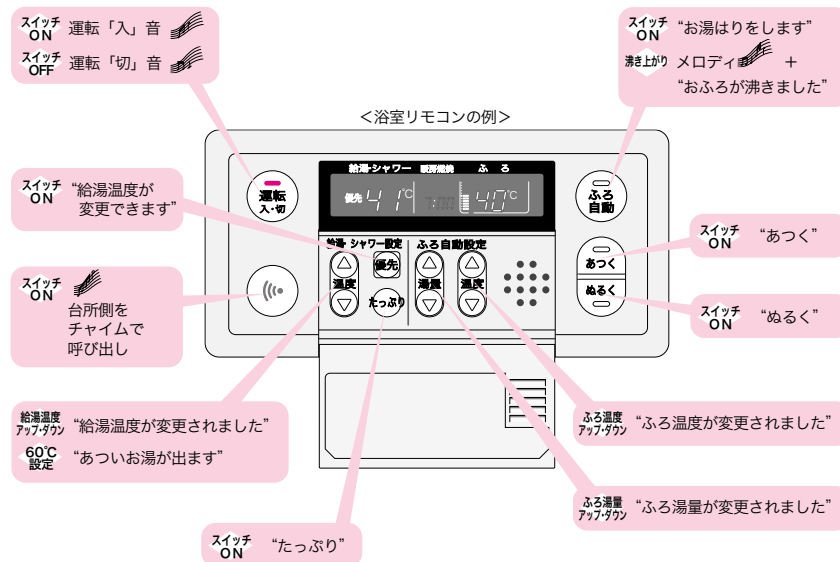
リモコンが音声でお知らせします <音声ガイド>

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。

片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。

お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。

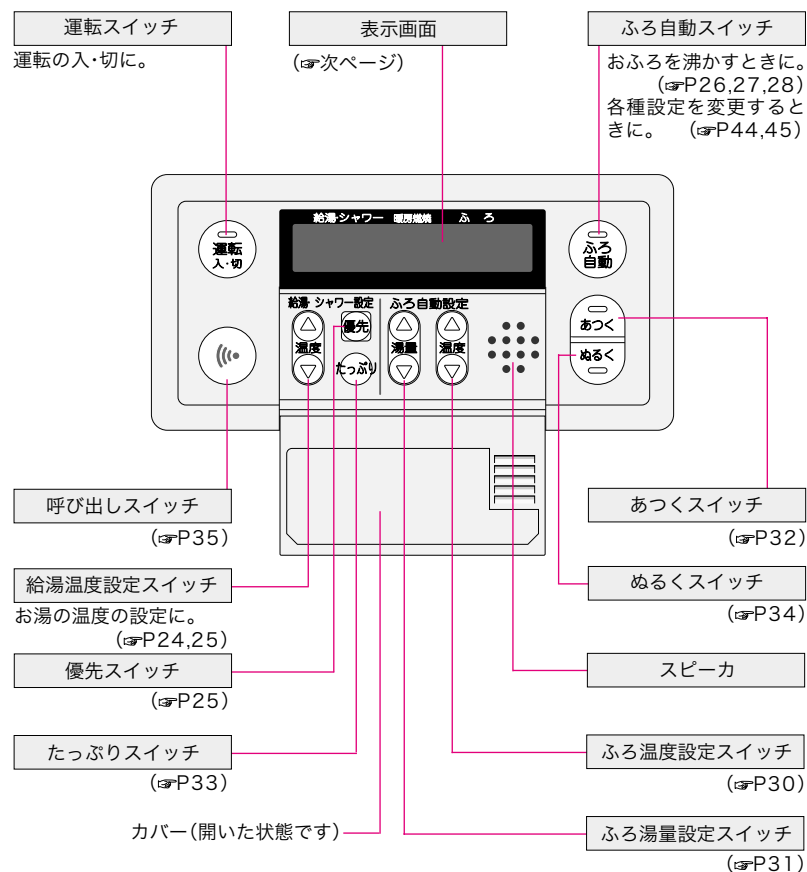
(音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることができます。(P44,45))



使いかた(リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)
各部のなまえとはたらき(リモコン)-1

浴室リモコン<別売品>

(浴室に取り付けます)

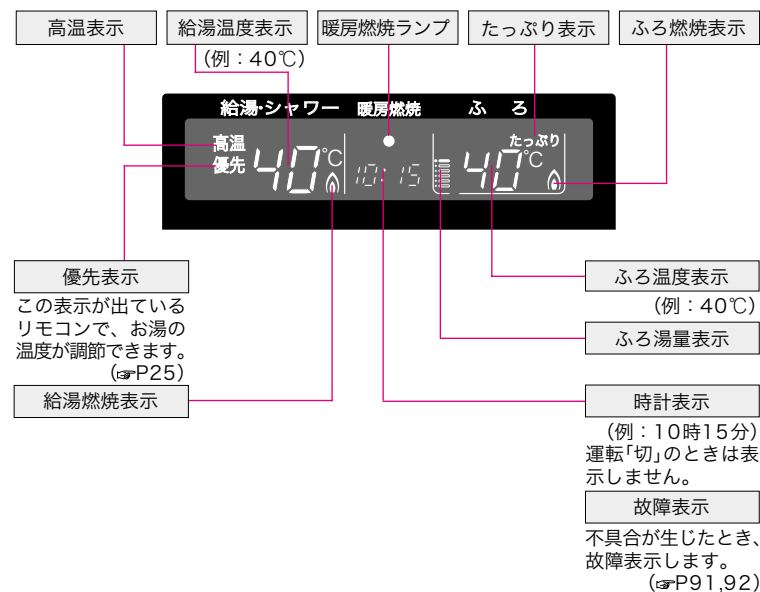


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

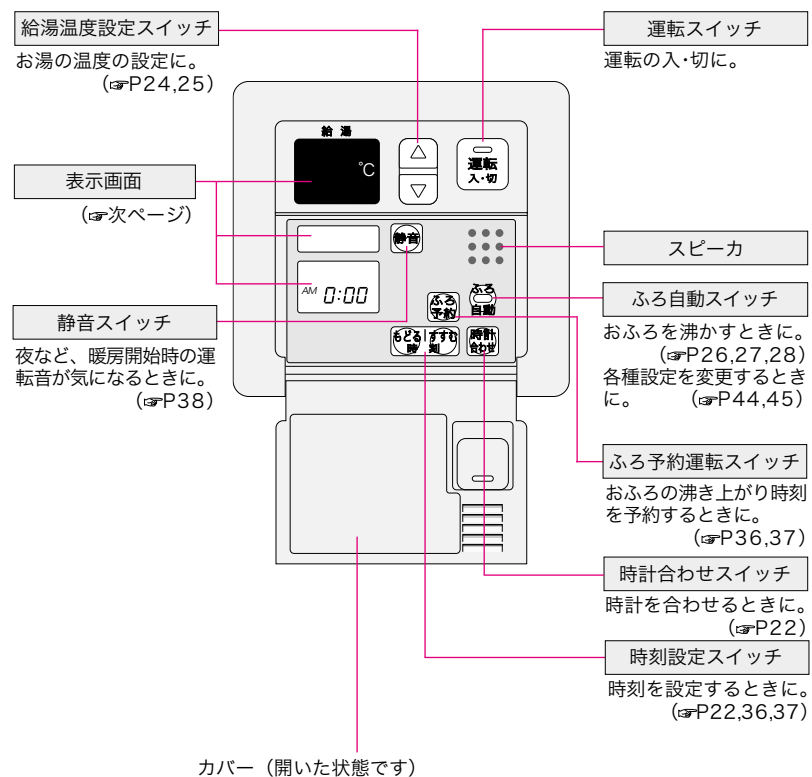


使いかた(リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

台所リモコン(138-3076型)＜別売品＞

(台所などに取り付けます)

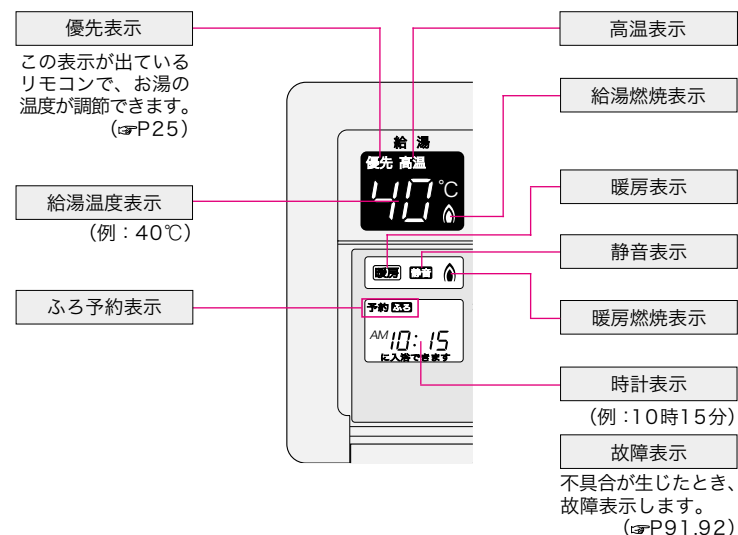


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

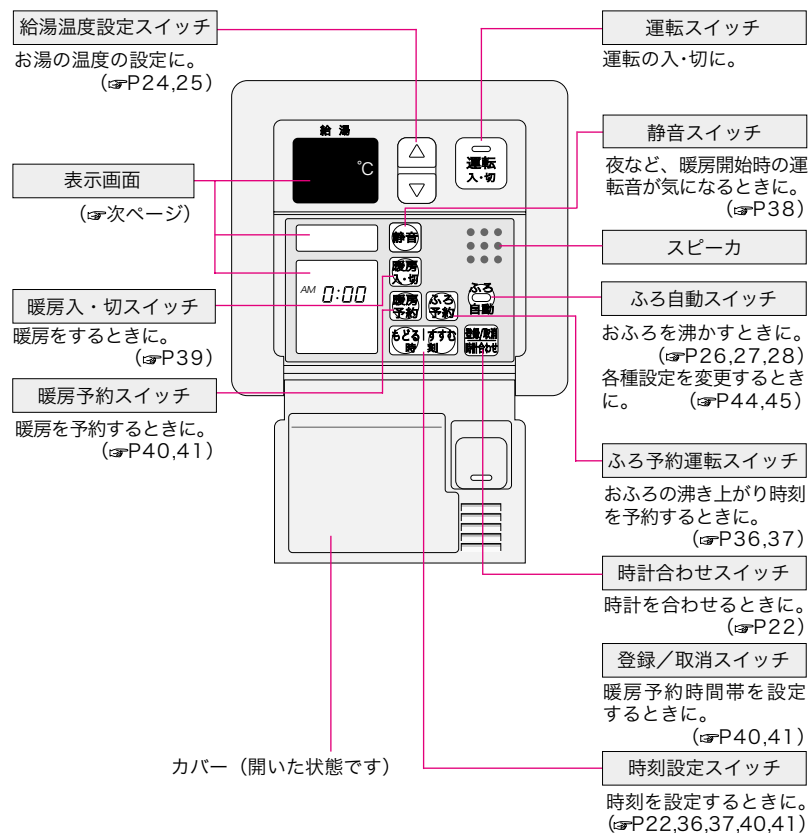
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



使いかた(リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)
各部のなまえとはたらき(リモコン)-3

台所リモコン(138-3077型)＜別売品＞

(台所などに取り付けます)

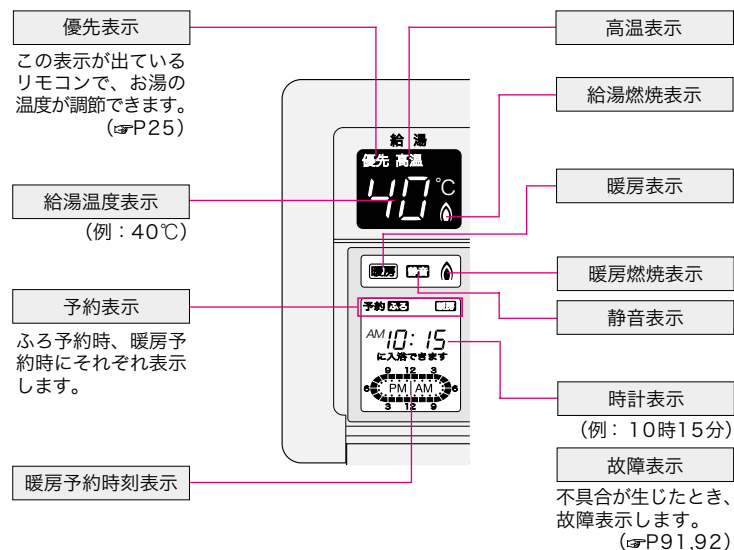


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

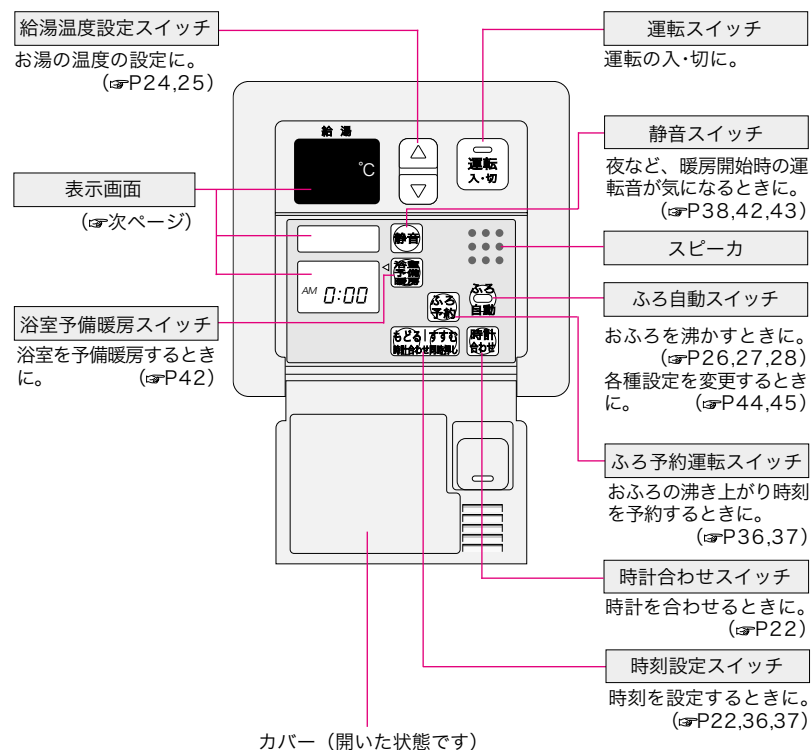
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



使いかた(リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)
各部のなまえとはたらき(リモコン)-4

台所リモコン(138-3078型)＜別売品＞

(台所などに取り付けます)

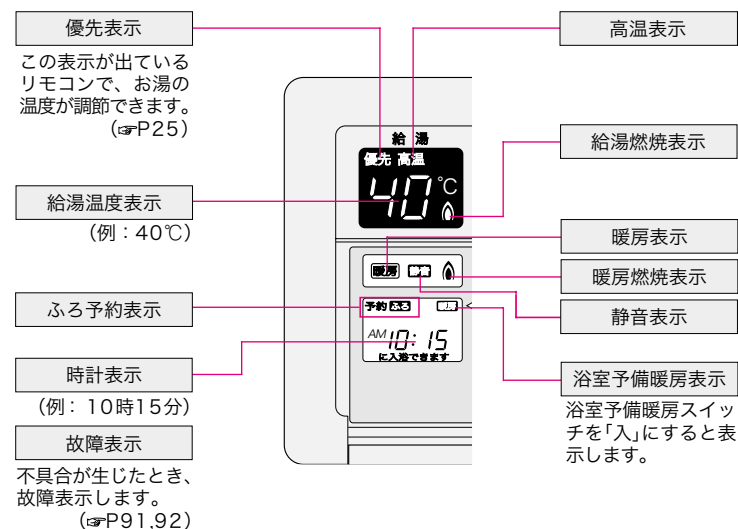


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

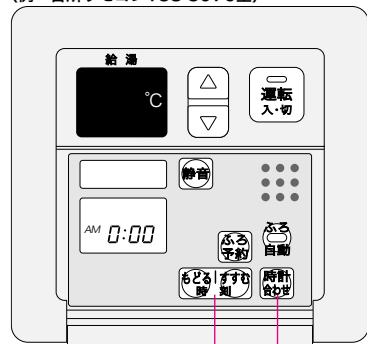
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

時計を合わせる

(例: 台所リモコン138-3076型)



運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。(左の画面表示は運転スイッチ「切」の状態です。)

2 1,3

※台所リモコン138-3077型の場合は です

ここでは台所リモコン138-3076型のスイッチ・表示画面でご説明します

1 時計合わせスイッチを押す



《AM 0:00》が点滅します。



2 時刻を合わせる



一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



例: 「午前10時15分」のとき

3 時計合わせスイッチを押す



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

お湯を出す(運転スイッチ「切」でお湯を出す)

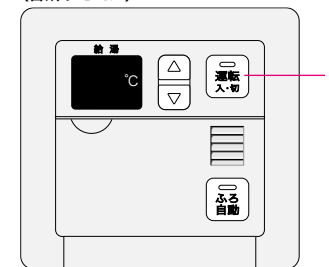
運転スイッチ「切」のときも、コージェネレーション設備や地域冷暖房設備によりあたためられたお湯を使用できます。(機器は燃焼しません)

※運転スイッチ「切」の場合、お湯の温度調節はリモコンではできません。給湯水栓で調節してください。
※お湯の温度は、コージェネレーション設備や地域冷暖房設備の運転状況、季節などにより異なります。

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



<運転スイッチ「入」のとき>

1 運転スイッチを「切」にする

<浴室リモコン>



<台所リモコン>



2 使用する場所で 温度を調節してお湯を使用する



<お湯の温度が希望する温度まで上がらないとき>
いったんお湯を止め、運転スイッチを「入」にし、ご希望の温度に設定して使用してください。(※P24,25)
機器が燃焼し、設定した給湯温度のお湯が出ます。

3 使用後は 給湯水栓を閉める



警告

やけど予防のために。

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手で湯の温度を確認してから使用してください。
- シャワーやお湯の使用時、他の人はリモコンの運転スイッチを操作しないでください。また、停電や故障時に高温のお湯が出る場合があります。もしもお湯の使用時に温度が変化したり、お湯の量が極端に少なくなったら、すぐにお湯の使用を中止し、給湯栓を閉めてください。

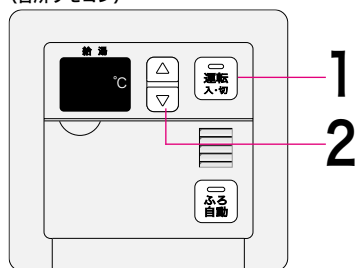
使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する (運転 スイッチ「入」でお湯を出す)

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



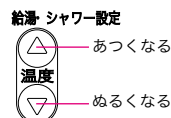
点灯



前回到設定した温度 (例: 40°C)

<一度設定すると記憶します>

2 給湯温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



お湯の温度

3 給湯栓を開ける



燃焼時 点灯

4 使用後は給湯栓を閉める



消灯

お湯の温度の目安

(°C: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など			給湯など			高温					

※初期設定(工場出荷時)=40°C

<故障ではありません>

*低めの温度(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。

*給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。(P87)

警告



やけど予防のために。

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60°Cに設定したときは、音声で“あついお湯が出ます”とお知らせし、右図のような表示でお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。60°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。
- シャワーやお湯の使用、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーやお湯の使用、他の人は《優先》を切り替えたり、リモコンの運転スイッチの操作をしないでください。また、停電や故障時に高温のお湯が出る場合があります。もしもお湯の使用に温度が変化したり、お湯の量が極端に少なくなったら、すぐにお湯の使用を中止し、給湯栓を閉めてください。



約10秒間 点滅→点灯



<浴室リモコン表示画面>



温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>(設定温度は例です)

	温度調節できない状態	優先切替する	温度調節できる状態
浴室リモコン	「優先」表示していない 	優先スイッチを押す 	表示
台所リモコン	表示していない 	運転スイッチを「切」(消灯)にして再度「入」(点灯)にする 	表示

※ふる運転中にこの操作をするとふる運転が停止します。

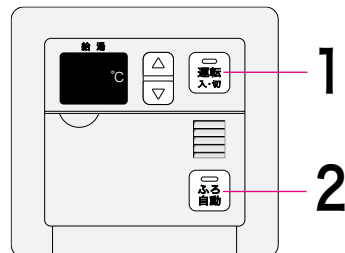
使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

お風呂を自動で沸かす-1

(浴室リモコン)



(台所リモコン)

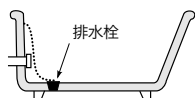


ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうにふたをする。



1 運転スイッチを「入」にする



ふろ温度・湯量の変更のしかた

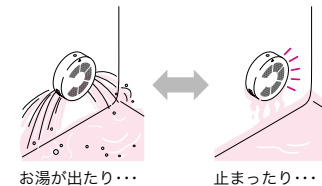
30,31ページ参照

<故障ではありません>

*ふろ自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。残り湯の量を確認しているため、故障ではありません。

*お風呂の自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。

*お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、お湯はりを中断するため、沸き上がりが遅くなります。



(次ページへ)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする



1) お湯はりを開始します。



2) お湯はりがおわると、追いだきします。



3) 入浴できる状態に近づく、ブザー(ビビビ音)でお知らせし、ランプが早い点滅に変わります。

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

おふろを自動で沸かす-2

ごきげんオート

入浴したのをセンサーが検知します。



おふろに入ると、体温でお湯の温度が少し下がります。そこで「ぬるいな」と感じる前に自動的にあたためます。(沸き上がり以降)

約30秒後に追いだきを開始して、ふろ設定温度まで追いだきます。



保温時間中、ごきげんオートがはたらきます。

沸き上がり後の自動追いだき保温・自動足し湯および、追いだき・足し湯終了後約2分間および、さし水終了後約15分間ははたらきません。

(前ページより)

沸き上がり

メロディでお知らせします。



保温燃焼中 表示

約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。(P44,45)

- ・途中でふろ自動運転をやめたいとき
- ・沸き上がり後、自動追いだき保温・自動足し湯・ごきげんオートの必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



沸き上がったあとで、ふろ自動スイッチを切り、排水栓を抜くと、自動的にふろ配管内の残り湯を排出します。
(P35「ふろ配管クリーンについて」)

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

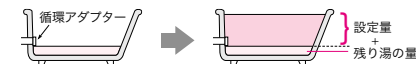
残り湯を沸かし直す

残り湯の沸かし直しは、「おふろを自動で沸かす-1,2」(P26~28)と同じ操作でおこなってください。

残り湯の量によって沸き上がりの状態が違いますご注意ください

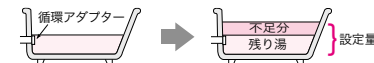
<残り湯が 循環アダプターより下にある場合>

沸き上がり時の湯量が、設定量より残り湯の分だけ増えます。



<残り湯が 循環アダプターより上にある場合>

設定量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸かし上げます。



使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

ふろ温度を調節する

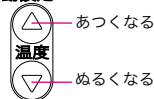
(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 ふろ温度設定スイッチで ふろ温度を調節する

ふろ自動設定



一度設定した温度は、次回変更するまで記憶しています。



ふろ温度 (例: 40℃)

ふろ温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ				ふつう						あつめ	

※初期設定(工場出荷時)=40℃

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

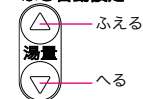
ふろ湯量を調節する

(浴室リモコン)



1 ふろ湯量設定スイッチで ふろ湯量を調節する

ふろ自動設定



一度設定した湯量は、次回変更するまで記憶しています。

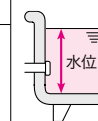


ふろ湯量表示

ふろ湯量の目安

※初期設定(工場出荷時)

ふろ湯量表示	水位(目安)
●	48cm
●	46cm
●	44cm
●	42cm
●	40cm
●	38cm ※
●	36cm
●	34cm
●	32cm
●	30cm
●	28cm

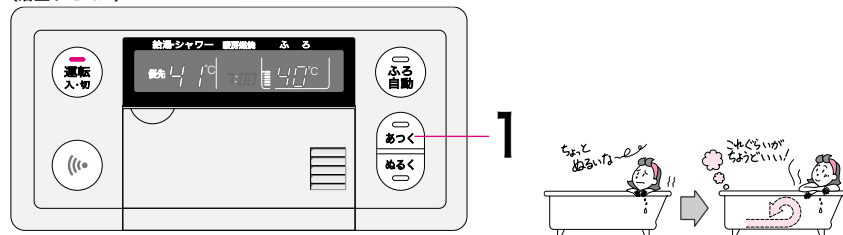


浴そうの形状などにより、実際の水位と異なります。

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

おふろの追いだきをする(あつく)

(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。



1 あつくスイッチを押す



お湯の温度がふる設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふる設定温度以上のお湯の温度+約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)



燃焼中 表示

追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、あつくスイッチを押す。(ランプ消灯)

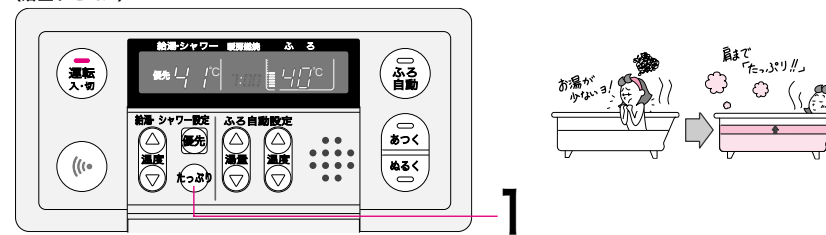


●「おふろの追いだき」は、「おふろの自動沸かし」中は使用できません。

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

おふろのお湯を増やす(たっぷり)

(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 たっぷりスイッチを押す



ふる設定温度のお湯を約20%足し湯し、自動的に止まります。



燃焼中 表示

足し湯を途中でやめたいとき

もう一度、たっぷりスイッチを押す。(たっぷり表示消灯)

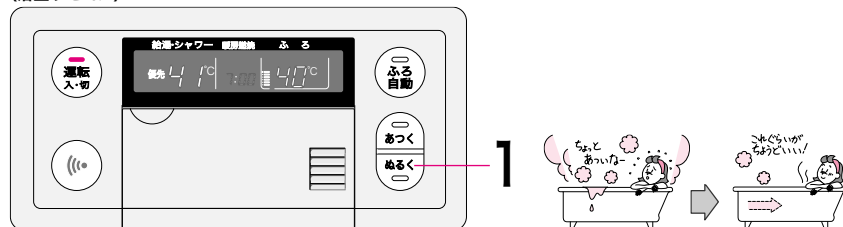


- 「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、設定したふる温度のお湯が出ます。
- 「足し湯」は、「おふろの自動沸かし」中は使用できません。

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

お風呂のお湯をぬるくする(ぬるく)

(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

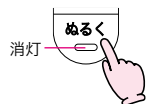
1 ぬるくスイッチを押す



ふる設定温度より約1℃下げるために必要な水がいり(その後ランプ消灯)、約3%のお湯がはいってから停止します。

「ぬるく」を途中でやめたいとき

もう一度ぬるくスイッチを押す。
(ランプ消灯)



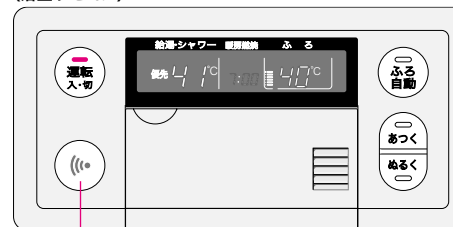
※約3%のお湯を入れてから停止します。

- 「ぬるく」は、お湯の使用または「お風呂の自動沸かし」中は使用できません。
- 「ぬるく」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、「ぬるく」は中止されます。

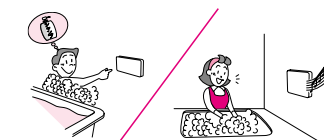
使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

(浴室リモコン)



浴室にいるとき何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。



呼び出しスイッチを押す

チャイムで呼び出します。



押し続けると、手を放すまでチャイムをくりかえします。

- 呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

ふる配管クリーンについて

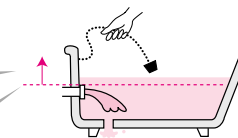
浴そう内の水(湯)を排水すると、機器がふる配管にお湯を約7%流して、循環アダプターからふる配管内の残り湯を押し出します。

※下記の条件がそろったときに、この機能ははたらきます。

条件1 お風呂の自動沸かしで沸き上がったあと

条件2 残り湯が循環アダプター上部より上にある

条件3 運転スイッチ「入」 条件4 ふる自動スイッチ「切」



(ふる配管クリーン中の表示例)



枠が点滅

＝ 次の場合は はたらきません ＝

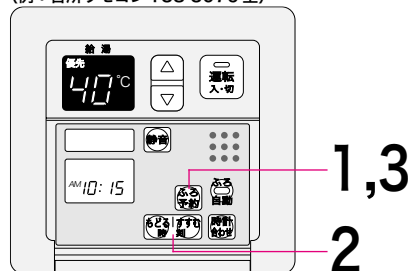
＊洗濯湯ユニット(別売品)の使用、または使用したあと(注湯のモードによっては、はたらく場合もあります)

＊ふる配管クリーン「しない」設定の場合(※P45)

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

おふろの沸き上がり時刻を予約する

(例：台所リモコン 138-3076 型)



運転前の準備

予約時刻(沸き上がり時刻)の約30分～60分前におふろ沸かしを開始するため、60分前までには予約してください。

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
4. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。

〈浴室リモコン表示画面〉



ふろ湯量 ふろ温度

5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

- 運転スイッチ「入・切」に関係なく予約設定できます。(イラストは「入」の状態です)
- 予約設定後、運転スイッチ「切」にしても、自動的におふろ沸かしを開始します。
- 前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約運転中にお湯を使うと、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、お湯はりを中断するため、予約時刻に沸き上がらないことがあります。

<一度設定すると記憶します>

1 ふろ予約スイッチを押す



一度沸き上がり時刻を設定している場合は、その時刻を表示します。

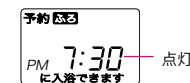
2 沸き上がり時刻を設定する (変える必要がない場合 3へ)



(例：沸き上がり時刻「午後7時30分」のとき)

一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

3 予約時刻を確認し ふろ予約スイッチを押す



ふろ自動ランプが点灯します。



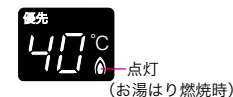
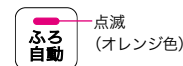
おふろ沸かしが始まる前に予約をやめたいとき

もう一度
ふろ予約スイッチを
押す。(予約表示 消灯)



おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前におふろ沸かしを開始します。



点灯 (お湯はり燃焼時)

おふろ沸かしが始まったあとで、おふろ沸かしをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押す。
(ランプ消灯)



沸き上がり

メロディでお知らせします。



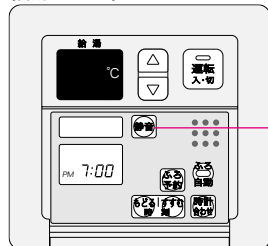
約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間を変更できます。
(P44,45)

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合)

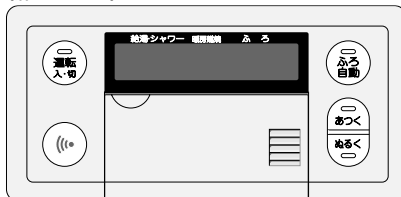
暖房する

リモコンセット138-3076型をお使いの場合

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



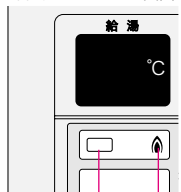
静音スイッチ

1 暖房する部屋の 放熱器の 運転スイッチを「入」にする

機器が運転します。

< 台所リモコン表示画面 >

< 浴室リモコン表示画面 >



運転中点灯

燃焼時点灯



2 放熱器の温度調節をする (温度調節機能のある放熱器のみ)

設定温度に合わせて、機器が能力を調節します。

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房運転できます。(イラストは「切」の状態です)
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

静音スイッチの使いかた

夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに静音スイッチを押してください。



暖房時の運転音を下げても運転します。(このとき暖房能力は少し低下します。)

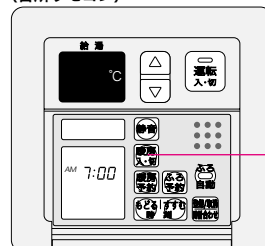
静音スイッチのはたらき

通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音スイッチを押すことで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

※静音運転をやめるときは、もう一度静音スイッチを押してください。

リモコンセット138-3077型をお使いの場合

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



1

1 暖房入・切スイッチを「入」にする

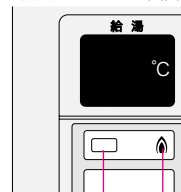


2 暖房する部屋の 放熱器の運転スイッチを「入」にする (運転スイッチのある放熱器のみ)

機器が運転します。

< 台所リモコン表示画面 >

< 浴室リモコン表示画面 >



運転中点灯

燃焼時点灯



3 放熱器の温度調節をする (温度調節機能のある放熱器のみ)

設定温度に合わせて、機器が能力を調節します。

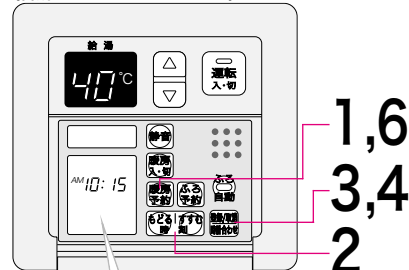
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房運転できます。(イラストは「切」の状態です)
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた (リモコン 138-3077型をお使いの場合) 暖房する時間帯を予約する

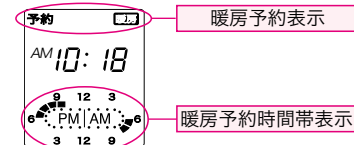
暖房する時間帯を、あらかじめお好きな時間帯に設定しておくことができます。



(台所リモコン 138-3077 型)



暖房予約をすると、「暖房予約運転表示」「暖房予約時刻表示」を表示します。
(表示していないときは暖房予約されていません)



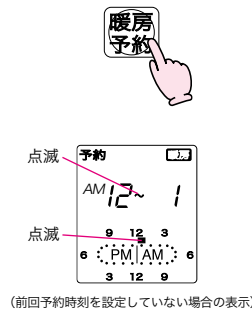
暖房予約をする前に、現在時刻が正しいことを確認してください。

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく予約できます。
(イラストは「入」の状態です)
- 放熱器側は、運転スイッチがある放熱器の場合は運転スイッチを「入」にし、温度調節機能のある放熱器の場合は温度の調節をしておいてください。
- 暖房予約時刻は、いくつでも自由に設定できます。
- 点滅のまま約30秒操作しないと、その状態で予約設定されます。
- 一度設定した予約時間帯は、暖房予約をやめても記憶しています。

(例)

朝6時～8時と夜6時～10時の時間帯を暖房するように予約をした場合

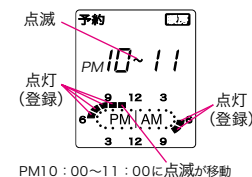
1 暖房予約スイッチを押す



(前回予約時刻を設定していない場合の表示)

5 2～4の要領でPM6時～10時まで登録する

点滅部分をPM6:00まで動かし、PM6:00～PM10:00を点灯させて登録する。



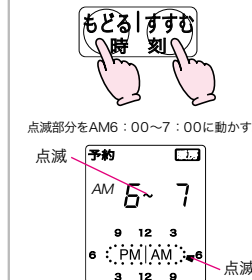
PM10:00～11:00に点滅が移動

一度登録した点灯部分を 取り消すには

点滅部分を、取り消したい点灯部分に動かして、登録/取消スイッチを押す。

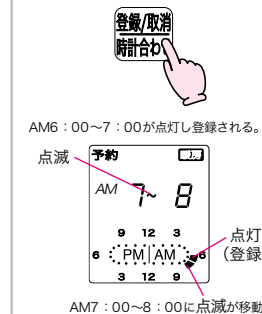


2 時刻設定スイッチでAM6時に合わせる



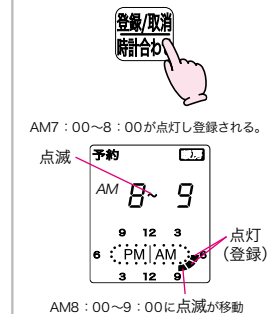
点滅部分をAM6:00～7:00に動かす。

3 登録/取消スイッチを押す(点灯させる=登録する)



AM7:00～8:00に点滅が移動

4 登録/取消スイッチを押す



AM8:00～9:00に点滅が移動

6 暖房予約スイッチを押す

暖房予約スイッチを押す。
現在の時刻から暖房予約運転を開始します。
(この例の場合、夕方6時から)



現在時刻表示

暖房予約をやめたい時

もう一度暖房予約スイッチを押す。

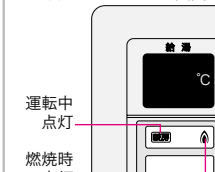


「暖房予約運転表示」「暖房予約時刻表示」が消えます。
暖房予約時刻は記憶しています。

暖房予約運転開始

予約開始時刻になると、暖房運転を開始します。

<台所リモコン表示画面>



予約終了時刻になると、暖房運転を終了します。

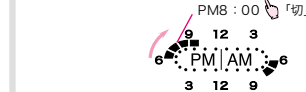
予約時間帯でなくても暖房運転できます

暖房入・切スイッチを押して「入」にする。
(予約終了時刻になると暖房運転は終了します)



予約時間帯中でも暖房運転を切ることができます

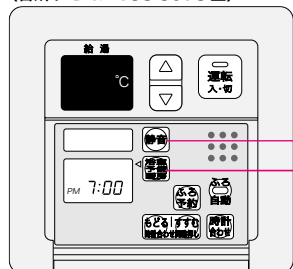
暖房入・切スイッチを押して「切」にする。
(次の予約開始時刻まで暖房運転しません)



使いかた (リモコン 138-3078型をお使いの場合)

浴室を予備暖房する

(台所リモコン 138-3078 型)



(浴室リモコン)



静音
スイッチ

1

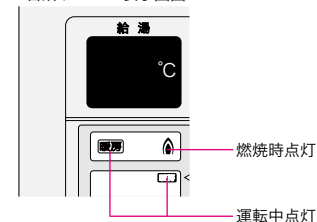
便利な使いかた

台所リモコンで浴室暖房乾燥機の運転の「入・切」をすることができます。
おふろの自動沸かし時に同時に浴室予備暖房スイッチを入れておくと、おふろ
が沸き上がった頃には浴室も暖まっています。

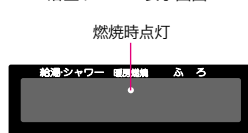
1 浴室予備暖房スイッチを押す



<台所リモコン表示画面>



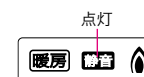
<浴室リモコン表示画面>



- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。
- 機種によっては、脱衣室暖房機も同時に運転します。
- 入浴中の浴室暖房運転、およびその他の運転方法については、浴室暖房乾燥機側の取扱説明書にしたがってください。
- 浴室暖房乾燥機のリモコンで暖房運転を開始した場合、台所リモコンで暖房運転を停止できない機種があります。その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで暖房運転を停止してください。

静音スイッチの使いかた

夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに静音スイッチを押してください。



暖房時の運転音を下げて運転します。(このとき暖房能力は少し低下します。)

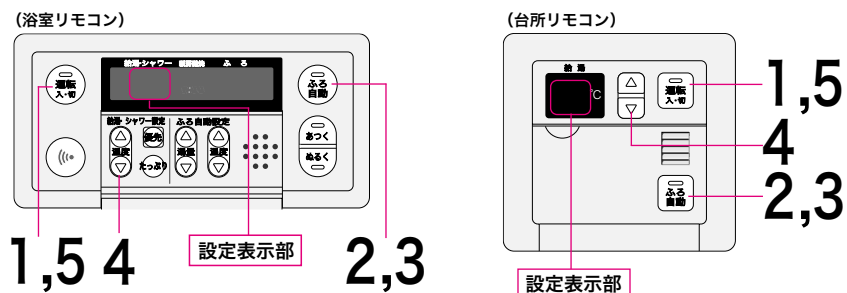
静音スイッチのはたらき

通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音スイッチを押すことで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

※静音運転をやめるときは、もう一度静音スイッチを押してください。

使いかた (リモコン 138-3076型,138-3077型,138-3078型をお使いの場合) リモコンでこんな設定ができます

リモコンの音量を変える	操作音・音声ガイドの音量変更ができます
リモコンの音・声を変える	音・声の種類や有無の切り替えができます
おふろの保温時間を変える	おふろが沸き上がったあとの保温時間を変更できます
ふる配管クリーンをしない	ふる配管クリーン「する/しない」の切り替えができます
機器の水抜きをする	機器の水抜きをするときにのみ操作してください



ここでは浴室リモコンでご説明します

1 運転「切」にする

2 ふる自動スイッチを
ピッとなるまで
(2秒間)押す

3 ふる自動スイッチを押して
設定モード(左の数字)を選ぶ

押すごとに
切り替わります。

次ページ 3

4 給湯温度設定スイッチで
設定(右の数字)を変更する

給湯・シャワー設定 それぞれの変更をします。

次ページ 4

5 設定変更してすぐに機器を使用する場合は
運転スイッチを「入」にする

機器を使用しない場合は、そのまま30秒放置して
おくと運転「切」の状態に戻ります。

＝初期設定(工場出荷時)

	3 ふる自動スイッチで 設定モード(左の数字)を選ぶ (押すごとに切り替わります)	
音 量	各リモコンの設定を変更できます 「1」にする 給湯・シャワー 11	
音・声	「2」にする 給湯・シャワー 23	
ふる保温時間	「3」にする 給湯・シャワー 34	
変更しないでください	「4」のとき 右の数字は 変更しないで ください 給湯・シャワー 40	
ふる配管クリーン	「5」にする 給湯・シャワー 51	

機器の水抜き	「6」にする 給湯・シャワー 60	
--------	---	--

4 給湯温度設定スイッチで 設定(右の数字)を変更する											
<table> <tr> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr> <td>小</td><td>中</td><td>大</td><td>特大</td></tr> </table>	0	1	2	3	小	中	大	特大			
0	1	2	3								
小	中	大	特大								
<table> <tr> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr> <td>音・声なし</td><td>電子音のみ</td><td>メロディ音のみ</td><td>メロディ音+音声</td></tr> </table> ・「呼び出し音」 ・「沸き上がりメロディ」(台所のみ)は鳴ります。	0	1	2	3	音・声なし	電子音のみ	メロディ音のみ	メロディ音+音声			
0	1	2	3								
音・声なし	電子音のみ	メロディ音のみ	メロディ音+音声								
(単位: 時間) <table> <tr> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> </table> 保温なし	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
0 「0」の状態のまま、変更しないでください。 もしも「1」にしてしまったら、再度「0」に戻してください。 ※「1」にした場合、機器を使用しないまましばらくたつと画面表示が消えます。画面表示が消えた状態のまま使用すると、お湯の使用時に給湯温度が確認できない場合があります。											
<table> <tr> <td>1 (する)</td><td>ふる配管クリーンをします(※P35)</td></tr> <tr> <td>0 (しない)</td><td>ふる配管クリーンをしません</td></tr> </table>	1 (する)	ふる配管クリーンをします(※P35)	0 (しない)	ふる配管クリーンをしません							
1 (する)	ふる配管クリーンをします(※P35)										
0 (しない)	ふる配管クリーンをしません										
機器の水抜きをするときに「1」にしてください(※P82)											

使いかた(リモコン 138-3060型をお使いの場合)

リモコンの特徴

リモコンが音声でお知らせします <音声ガイド>

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
(音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。 (P78,79))



リモコン操作を文字でお知らせします <文字ガイド>

操作の内容を文字でお知らせします。

また、運転の状態を文字でお知らせします。

例)



など...

例)



など...

リモコン画面の焼き付き防止 <スクロール表示>

画面の焼き付き防止のため、機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面の状態が変わります(スクロール表示)。



使用しないまま
時間がたつと



現在時刻(時刻設定している場合)と給湯温度が横にスクロールします

*再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼き付き防止のために<表示の節電>の設定ができます(P78,79)。機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



使用しないまま
時間がたつと



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

*再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

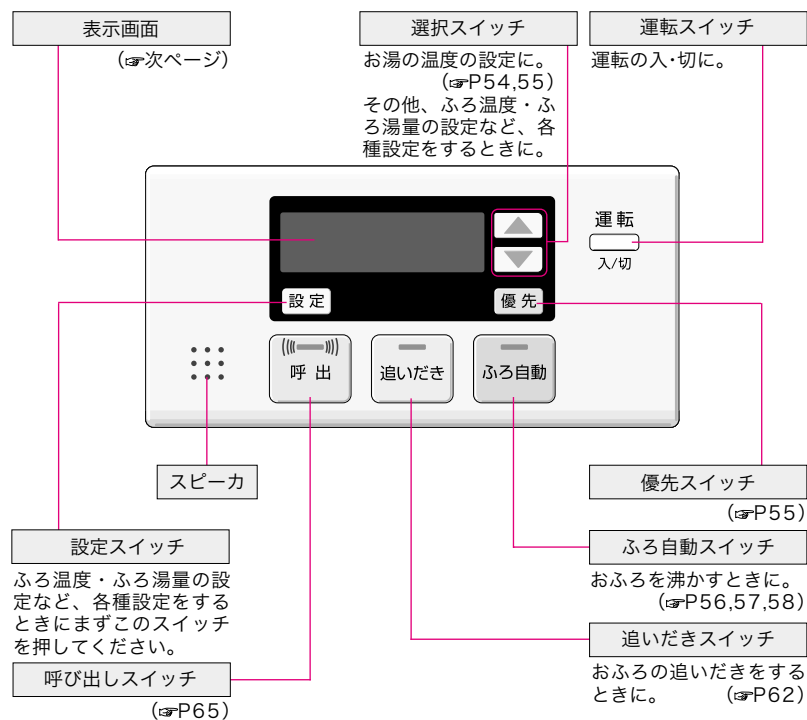
*給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、画面表示は消えません。

使いかた(リモコン 138-3060型をお使いの場合)

各部のなまえとはたらき(リモコン)-1

浴室リモコン<別売品>

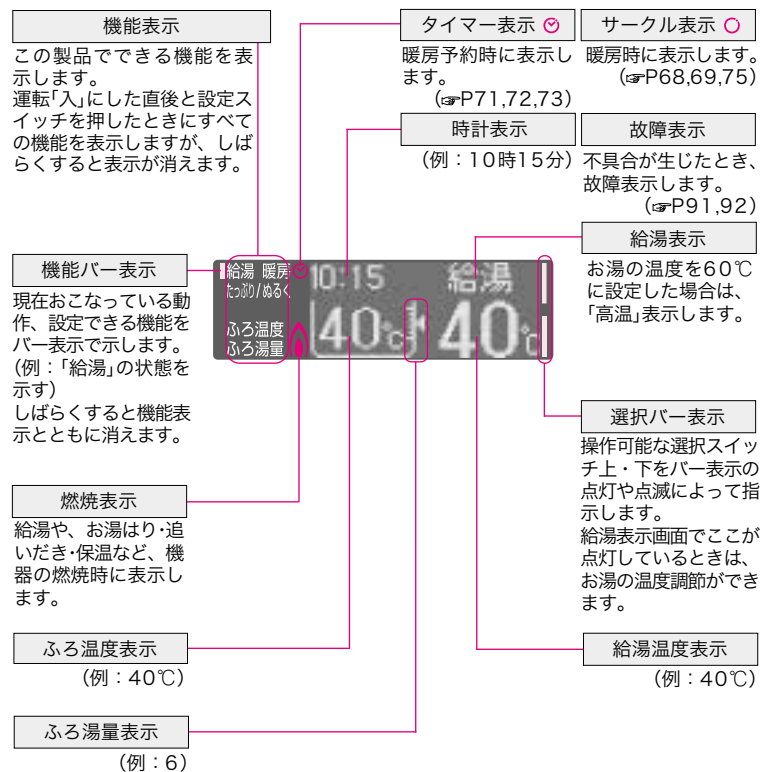
(浴室に取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

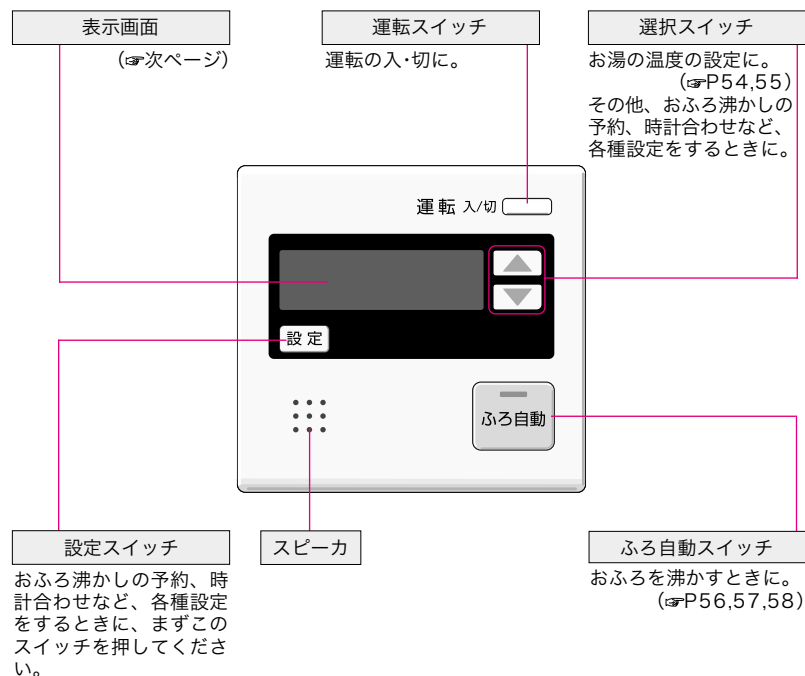


使いかた(リモコン 138-3060型をお使いの場合)

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

台所リモコン<別売品>

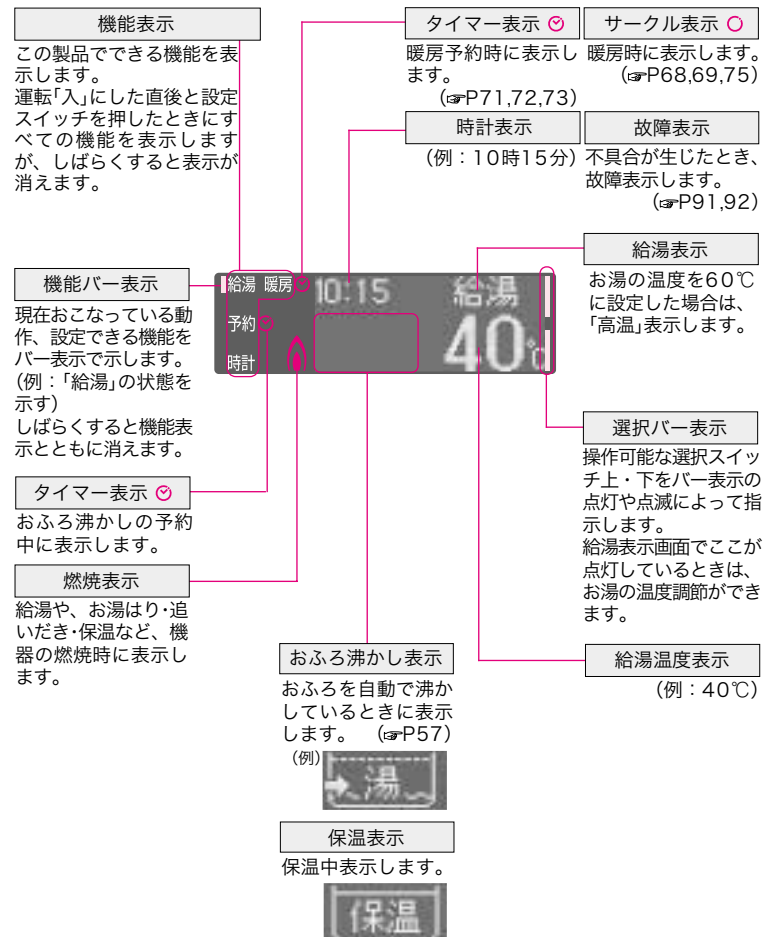
(台所などに取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

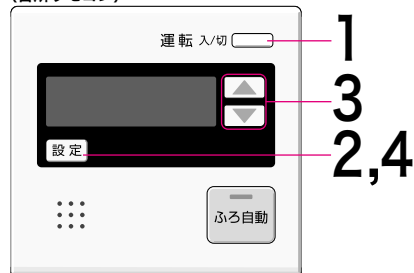
下記の表示画面は説明のため、基本的なものののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

時計を合わせる

(台所リモコン)



1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押して バー表示を「時計」の位置にする

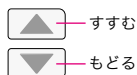


設定スイッチを押すことに
順にバー表示が移動します



バー表示「時計」

3 選択スイッチで 現在時刻を設定する



一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



4 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻る



時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時計表示のかわりに「ふろ」を表示します。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

お湯を出す (運転スイッチ「切」でお湯を出す)

運転スイッチ「切」のときも、コージェネレーション設備や地域冷暖房設備によりあたためられたお湯を使用できます。(機器は燃焼しません)

※運転スイッチ「切」の場合、お湯の温度調節はリモコンではできません。給湯水栓で調節してください。
※お湯の温度は、コージェネレーション設備や地域冷暖房設備の運転状況、季節などにより異なります。

(浴室リモコン)

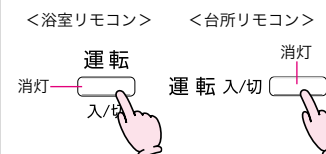


(台所リモコン)



<運転スイッチ「入」のとき>

1 運転スイッチを「切」にする



2 使用する場所で 温度を調節して お湯を使用する



<お湯の温度が希望する温度まで上がらないとき>
いったんお湯を止め、運転スイッチを「入」にし、ご希望の温度に設定して使用してください。(P54,55)
機器が燃焼し、設定した給湯温度のお湯が出ます。

3 使用後は 給湯水栓を閉める



警告 やけど予防のために。

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手で湯の温度を確認してから使用してください。
- シャワーやお湯の使用で、他の人はリモコンの運転スイッチを操作しないでください。また、停電や故障時に高温のお湯が出る場合があります。もしもお湯の使用で温度が変化したり、お湯の量が極端に少なくなったら、すぐにお湯の使用を中止し、給湯栓を閉めてください。

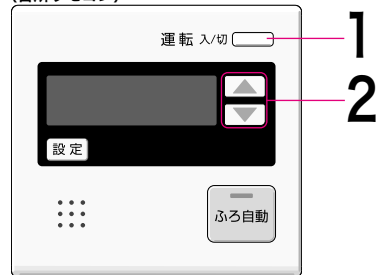
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する(運転 スイッチ「入」でお湯を出す)

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

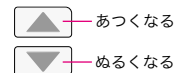
1 運転スイッチを「入」にする



前回に設定した給湯温度
(例: 40℃)

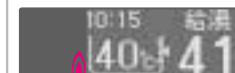
<一度設定すると記憶します>

2 選択スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



燃焼時 点灯

4 使用後は給湯栓を閉める



消灯

お湯の温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など							給湯など				高温

※初期設定(工場出荷時)=40℃

<故障ではありません>

*低めの温度(食器洗いなどに)設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
*給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。(P87)

警告

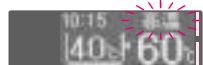


やけど予防のために。

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃に設定したときは、音声で“あついお湯が出ます”とお知らせし、右図のような表示でお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーやお湯の使用、他の人は《優先》を切り替えたり、リモコンの運転スイッチの操作をしないでください。また、停電や故障時に高温のお湯が出る場合があります。もしもお湯の使用中に温度が変化したり、お湯の量が極端に少なくなったら、すぐにお湯の使用を中止し、給湯栓を閉めてください。



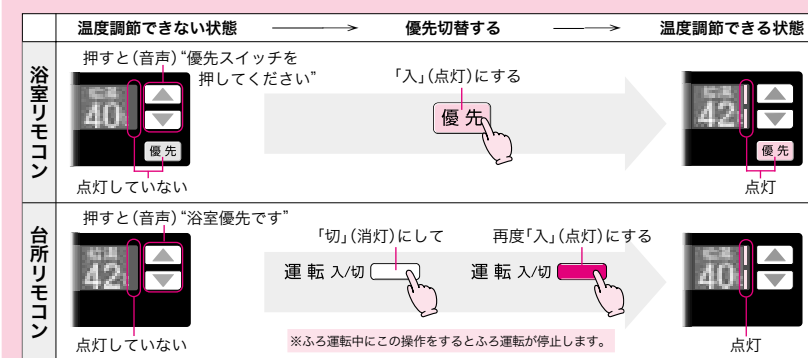
約10秒間 点滅→点灯



<浴室リモコン表示画面>



温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>(設定温度は例です)



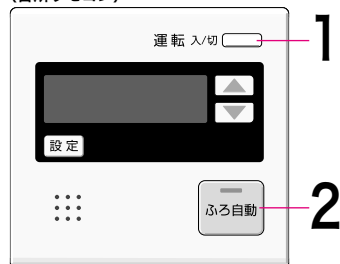
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

お風呂を自動で沸かす-1

(浴室リモコン)



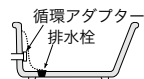
(台所リモコン)



<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。



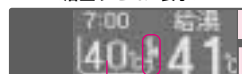
3. 浴そうのふたをする。

1 運転スイッチを「入」にする

<浴室リモコン>



<浴室リモコン表示>

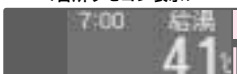


ふろ温度 確認 ふろ湯量 確認

<台所リモコン>



<台所リモコン表示>

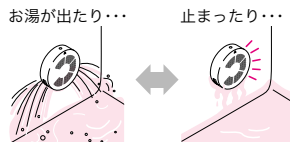


ふろ温度・湯量の変更のしかた

60,61 ページ参照

<故障ではありません>

- *ふろ自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
- 残り湯の量を確認しているため、故障ではありません。
- *お風呂の自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。
- *お湯はりに中に台所やシャワーでお湯を使うと、お湯はりを中断するため、沸き上がり時刻が遅くなります。



<台所リモコンのお湯はり中の波表示は進行状況を表します> (イラストは例です)

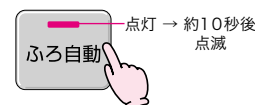
お湯はり(沸かし直し)が進むにつれ、次第に波表示が上がっていきます。
※実際の水位を表すものではありません。



※沸かし直し時、残り湯の量によっては急に波表示が上がることがありますが、異常ではありません。

(次ページへ)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする



- 1) お湯はりを開始します。



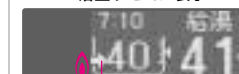
10秒後



※しばらくすると波表示します
(※上記 台所リモコンの波表示の説明)

- 2) お湯はりがおわると、追いだきします。

<浴室リモコン表示>



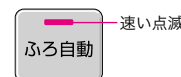
追いだき中 表示

<台所リモコン表示>



浴そうのお湯 温度(目安)
ふろ設定温度

入浴できる状態に近づく、ランプが速い点滅に変わります。



お湯はりに中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合) おふろを自動で沸かす-2

ごきげんオート

おふろに入ると、体温でお湯の温度が少し下がります。そこで「ぬるいな」と感じる前に自動的にあたためます。(沸き上がり以降)

入浴したのをセンサーが検知します。



約30秒後に追いだきを開始して、ふろ設定温度まで追いだきます。



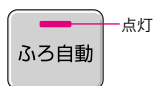
保温時間中、ごきげんオートがはたらきます。

沸き上がり後の自動追いだき保温・自動足し湯および、追いだき・足し湯終了後約2分間および、さし水終了後約15分間ははたらきません。

(前ページより)

沸き上がり

メロディでお知らせします。



約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。(P78,79)

<浴室リモコン表示>



保温燃焼中 点灯

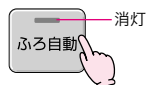
<台所リモコン表示>



保温中 表示

- ・途中でおふろ沸かしをやめたいとき
- ・沸き上がり後、自動追いだき保温・自動足し湯ごきげんオートの必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



沸き上がったあとで、ふろ自動スイッチを切り、排水栓を抜くと、自動的にふろ配管内の残り湯を排出します。
(P65「ふろ配管クリーンについて」)

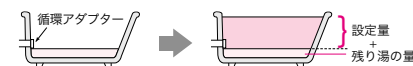
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合) 残り湯を沸かし直す

残り湯の沸かし直しは、「おふろを自動で沸かす-1,2」(P56～58)と同じ操作でおこなってください。

残り湯の量によって、沸き上がりの状態が違いますのでご注意ください

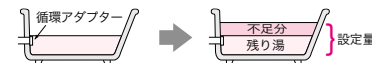
<残り湯が 循環アダプターより下にある場合>

沸き上がり時の湯量が、設定量より残り湯の分だけ増えます。



<残り湯が 循環アダプターより上にある場合>

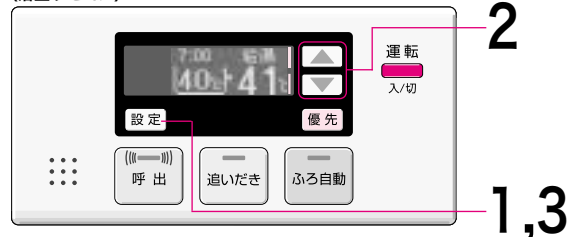
設定量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸かし上げます。



使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

ふろ温度を調節する

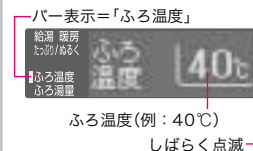
(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

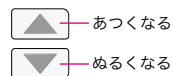
<一度設定すると記憶します>

1 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ温度」の位置にする



ふろ温度 (例: 40℃)
しばらく点滅

2 選択スイッチでふろ温度を調節する



ふろ温度

3 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



ふろ温度

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2 の段階で変更した温度で確定されます。

ふろ温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

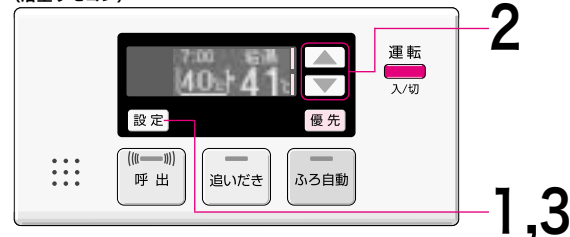
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう								あつめ

※初期設定 (工場出荷時) = 40℃

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

ふろ湯量を調節する

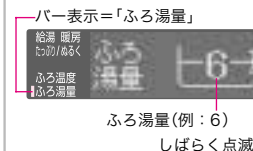
(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

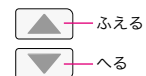
<一度設定すると記憶します>

1 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ湯量」の位置にする



ふろ湯量 (例: 6)
しばらく点滅

2 選択スイッチでふろ湯量を調節する



ふろ湯量

3 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



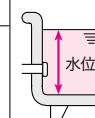
ふろ湯量

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2 の段階で変更した湯量で確定されます。

ふろ湯量の目安

※初期設定 (工場出荷時)

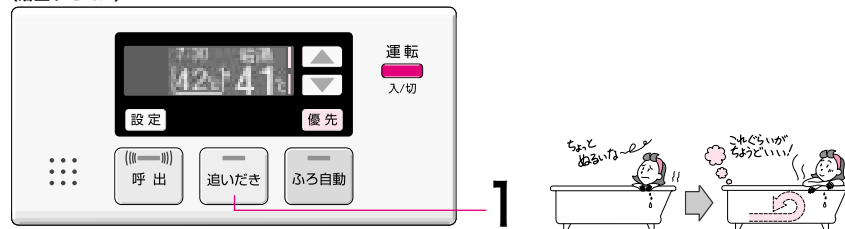
ふろ湯量表示	水位 (目安)
11	48cm
10	46cm
9	44cm
8	42cm
7	40cm
6	38cm ※
5	36cm
4	34cm
3	32cm
2	30cm
1	28cm



浴そうの形状などにより、実際の水位と異なります。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合) おふろの追いだきをする

(浴室リモコン)



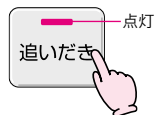
※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。



1 追いだきスイッチを「入」にする



お湯の温度がふろ設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふろ設定温度以上のお湯の温度+約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)



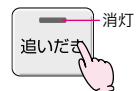
追いだき中 表示

追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

※追いだき中に温度を変更したい場合は、「ふろ温度を調節する」(P60)の手順で変更してください。

追いだきを途中でやめたいとき

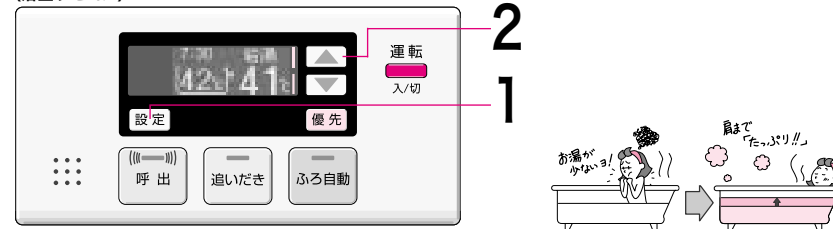
もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)



●「おふろの追いだき」は、おふろの自動沸かし中では使用できません。

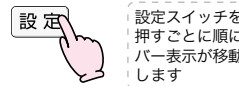
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合) おふろのお湯を増やす(足し湯《たっぷり》)

(浴室リモコン)

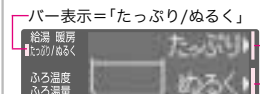


※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「たっぷり/ぬるく」の位置にする

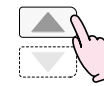


設定スイッチを押すことに順にバー表示が移動します

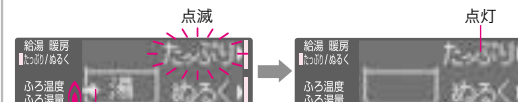


しばらく点滅

2 選択スイッチ(上)で「たっぷり」を選ぶ



お湯を約20分足し湯し、自動的に止まります。(お湯の温度はふろ設定温度です。)



足し湯中 表示

※「足し湯」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

<足し湯終了>

※しばらくすると給湯表示画面に戻ります。

足し湯《たっぷり》を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(上)を押す。(1の画面に戻る)



設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

●「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、設定したふろ温度のお湯が出ます。
●「足し湯」は、おふろの自動沸かし中では使用できません。

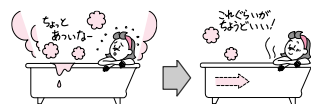
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

お風呂のお湯をぬるくする(さし水《ぬるく》)

(浴室リモコン)



2
1

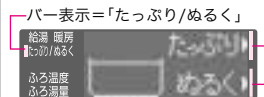


※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して
バー表示を「たっぷり/ぬるく」
の位置にする

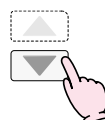


設定スイッチを
押すごとに順に
バー表示が移動
します



しばらく点滅

2 選択スイッチ(下)で「ぬるく」を選ぶ



ふろ設定温度より約1℃下げるために必要な水はいり、
約3分のお湯がはいってから停止します。



さし水中 表示

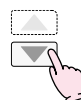
※燃焼表示がつくことがあります。
※「さし水」中に設定スイッチを押すと
給湯表示画面に戻ります。

<さし水終了>

※しばらくすると給湯表示画面に戻り
ます。

さし水《ぬるく》を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(下)を押す。(給湯表示画面に戻る)



※約3分のお湯を入れてから停止します。

設定スイッチを押すと給湯表示画面に
戻ります。

- 「さし水」は、お湯の使用または「お風呂の自動沸かし」のお湯はり中は使用できません。
- 「さし水」中にお湯を使うと、「さし水」を中止します。
その場合、約20秒間<さし水終了>の表示画面のままになっているため、給湯温度の確認が
できません。給湯温度を高温に設定しているときは特に注意してください。
(給湯温度を確認したい場合は、設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります)

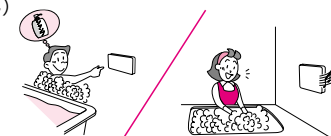
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

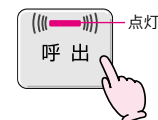
(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり
気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出
しスイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼び出しスイッチを押す



- 呼び出しスイッチは運転
スイッチの「入・切」に関
係なく使用できます。



チャイムで呼び出します。
押し続けると、手を放すまで
チャイムをくりかえします。

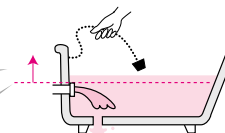
ふろ配管クリーンについて

浴そう内の水(湯)を排水すると、機器がふろ配管にお湯を約7分流して、循環アダプターから
ふろ配管内の残り湯を押し出します。

※下記の条件がそろったときに、この機能ははたらきます。

条件1 お風呂の自動沸かしで沸き上がったあと

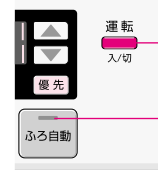
条件2 残り湯が循環アダプター上部より上にある



浴室リモコンのみで表示



<ふろ配管クリーン中の表示例>



条件3
運転スイッチ「入」

条件4
ふろ自動スイッチ「切」

＝ 次の場合は はたらきません ＝

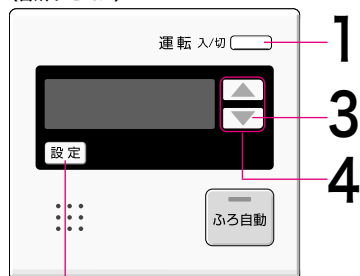
※洗濯注湯ユニット(別売品)の使用、または使用
したあと(注湯のモードによってははたらく場合
もあります)

※ふろ配管クリーン「しない」設定の場合(※P79)

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

おふろの沸き上がり時刻を予約する

(台所リモコン)



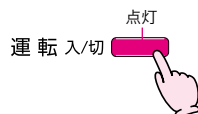
予約時刻(沸き上がり時刻)の約30分～60分前におふろ沸かしを開始するため、60分前までは予約してください。

運転前の準備

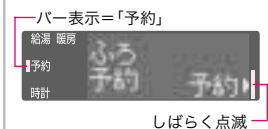
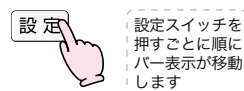
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
4. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。(設定スイッチで確認 ➡P60,61)
5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

<運転スイッチ「切」のとき>

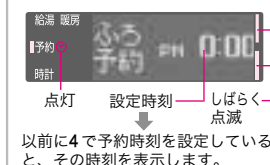
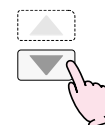
1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を「予約」の位置にする

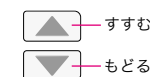


3 選択スイッチ(下)を押す



<一度設定すると記憶します>

4 選択スイッチで沸き上がり時刻を設定する(時刻変更しない場合5へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



5 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す



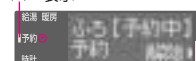
おふろ沸かしが始まる前に

- ・予約時刻を確認したい
- ・予約をやめたいとき
- ・予約時刻を変更したい

とき(下記①のみ)
(下記①～②)
とき(下記①～③)

①設定スイッチを押し、「予約」にバー表示を移動させる。

バー表示



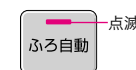
②選択スイッチ(下)で解除する。



③上記1～4の手順で、設定しなおす。

おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前に自動運転を開始します。



お湯はり中、追いだき中 表示

※予約でおふろの自動沸かしをしている場合、波表示はしません。

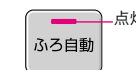
おふろ沸かしが始まったあとでおふろ沸かしをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押す。(ランプ消灯)



沸き上がり

メロディでお知らせします。



約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。(➡P78,79)



保温燃焼中 点灯

- 予約設定後、運転スイッチ「切」にしても、自動的におふろ沸かしを開始します。
- 前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約したおふろ沸かし中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、お湯はりを中断するため、予約時刻に沸き上がらないことがあります。

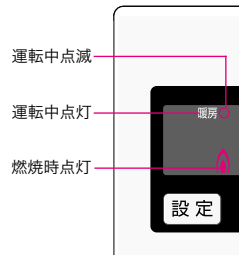
最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、4の段階で変更した時刻で確定されます。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

暖房する-1

1 暖房する部屋の 放熱器の 運転スイッチを「入」にする

機器が運転します。



2 放熱器の温度調節をする (温度調節機能のある放熱器のみ)

設定温度に合わせて、機器が能力を調節します。

暖房を切るときは

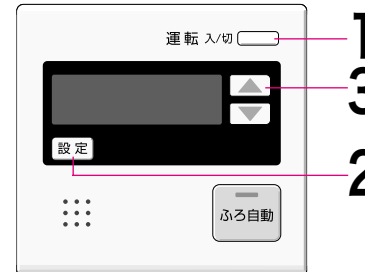
放熱器の運転スイッチを「切」にする。

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房できます。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

暖房する-2 (放熱器に運転スイッチがない場合)

(台所リモコン)



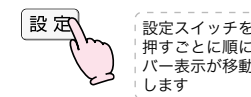
※この方法で暖房できない製品もあります

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを 「入」にする



2 設定スイッチを押して バー表示を「暖房」の 位置にする

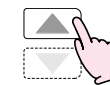


バー表示=「暖房」



表示が異なる場合があります

3 選択スイッチ(上)で 暖房運転「入」にする



暖房中 点滅



4 放熱器の 温度調節をする

設定温度に合わせて、機器が能力を調節します。

途中で暖房運転をやめたいとき

2、3の手順で暖房運転「切」にする。

リモコンの運転スイッチを「切」にしても、暖房運転は切れません。

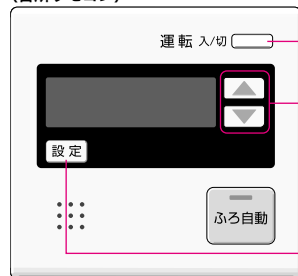
暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

暖房する-2 (放熱器に運転スイッチがない場合)

暖房する時間帯を予約する-1

(台所リモコン)



お好みの時間帯に自動的に暖房するように予約できます。
一度予約設定すれば、予約解除するまで毎日設定した時間帯に自動的に暖房します。

※予約設定できない製品もあります

3,4,5,6,7,8
2,9

ここでは
朝6時～8時と
夜6時～10時に
暖房するよう予約する
場合で説明します

予約前の準備

現在時刻が正しいかどうか
確認する。
(時計を合わせるP52)

<運転スイッチ「切」の場合>

1 運転スイッチを「入」にする

運 転 入/切 点灯

2 設定スイッチを押して バー表示を「暖房」の位置にする



設定スイッチを押すことに順に
バー表示が移動します

放熱器の条件によって、
設定スイッチを押したあとに
出る表示が異なります。

この表示が出た場合は 次へ進んでください

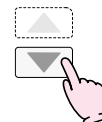
※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時＝「切」)

バー表示
「暖房」 給湯 暖房 入/切
予約 運転浴室暖房
時計 3へ

バー表示
「暖房」 給湯 暖房 入/切
予約 暖房 入/切
時計 4へ

バー表示
「暖房」 給湯 暖房 入/切
予約 運転 予約
時計 5へ

3 選択スイッチ(下)で「浴室暖房」を選択する



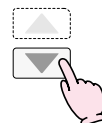
この表示が出た場合は 次へ進んでください

※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時＝「切」)

給湯 暖房 入/切
予約 浴室暖房
時計 4へ

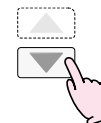
給湯 暖房 入/切
予約 浴室暖房 予約
時計 5へ

4 選択スイッチ(下)で「静音」を選択する



給湯 暖房 静音 入/切
予約 設定 予約
時計

5 選択スイッチ(下)で「予約」を選択する



予約時間帯の入力画面になります。
(前回設定した予約パターンを記憶しています)

タイマー表示 点灯
給湯 暖房 予約 入/切
予約 予約 入/切
時計

※暖房予約解除後、前回の予約パターンで再度暖房予約をするときは、このまま設定スイッチを押してください。

- 予約入力画面のまましばらく操作しないと、設定スイッチを押さなくてもその状態で予約設定されます。
- ここに記載の表示以外が出る場合は、このリモコンによる暖房の予約はできません。
- 放熱器側に暖房予約機能がある場合は、放熱器側の取扱説明書をご覧ください。

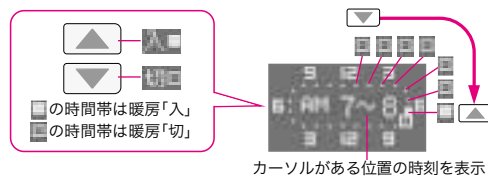
使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

暖房する-2 (放熱器に運転スイッチがない場合)

暖房する時間帯を予約する-2

(つづき)

6 選択スイッチ(下=) を押し進めて行き AM6~7で選択スイッチ(上=) を押す



AM 6~7 が暖房「入」の設定になります。



7 続けてAM7~8で選択スイッチ(上=) を押す

AM 7~8 も暖房「入」の設定になります。

AM 6~8 まで暖房が予約できました。



8 6と同様に、選択スイッチ(下=) を押し進め、PM6~7, PM7~8, PM8~9, PM9~10で選択スイッチ(上=) を押す



さらにPM 6~7, PM 7~8, PM 8~9, PM 9~10が暖房「入」の設定になります。

PM 6~10 まで暖房が予約できました。



9 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



タイマー表示 点灯



暖房予約を解除するときは

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. (予約と同じ2~5の手順で)予約中画面にし、選択スイッチ(下)で予約「切」にする。



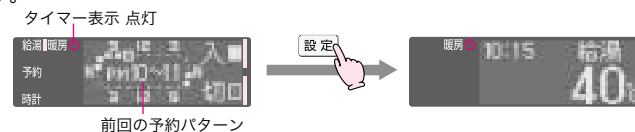
※予約を解除しても、設定した予約パターンは記憶しています。

※運転スイッチを「切」にしても暖房予約は「切」になりません。

暖房予約解除後、再度暖房予約するときは

<前回設定した予約パターンで予約する場合>

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. 2~5の手順で予約時間帯の入力画面にし、そのまま設定スイッチを押して、給湯表示画面に戻る。



<前回設定した予約パターンを変更して予約する場合>

1. 運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2. 2~9の手順で予約パターンを変更して予約する。(変更した予約パターンを記憶します)

予約中に予約パターンを変更するときは

いったん暖房予約を解除してから(☞上記「暖房予約を解除するときは」)、再度2~9の手順で設定し直してください。

予約入力画面のまましばらく操作しないと、設定スイッチを押さなくてもその状態で予約設定されます。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

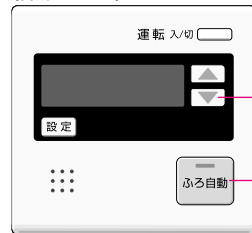
浴室暖房する (浴室暖房乾燥機がついている場合)

おふろの自動沸かし時に
同時に浴室暖房する場合

浴室暖房乾燥機がついている場合、おふろの自動沸かし時にふろ自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房乾燥機を「入」にすることができます。

ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



P56～58 「おふろを自動で沸かす」
操作2から説明します。
(浴室リモコンも同様です)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする

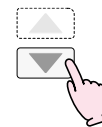


おふろの自動沸かしの画面になる前に、
浴室暖房設定画面になります。



浴室暖房との組み合わせによっては
この方法でできない場合があります。

3 「浴室暖房」を表示している間に 選択スイッチ(下)を押して 浴室暖房設定する



おふろの自動沸かしの画面に戻り(ふろ温度・ふろ湯量
が交互に10秒間点滅)、お湯はりとおふろの自動沸かし
をします。

P57 操作2の続きへ
おふろの自動沸かしを続けます
※浴室リモコンと台所リモコンの
表示は少し違います。

3の操作をしない場合、20秒後自動沸かしの画
面に戻り、浴室暖房をせずにおふろの自動沸かし
を続けます。

4 浴室暖房乾燥機の 温度調節をする

浴室暖房乾燥機側で、能力
を調節します。

途中で浴室暖房を やめたいとき

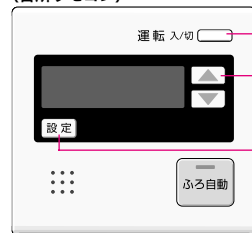
- 1) 設定スイッチを押して
バー表示を「暖房」の位
置にし、浴室暖房設定画
面にする。
(このページの下段「浴室
暖房のみする場合」参照)
- 2) 選択スイッチ(上)で、浴
室暖房「切」にする。

●浴室暖房乾燥機の運転方法・温度調節の方法については、浴室暖房乾燥機側の取扱説明書にしたがってください。
●機種によっては、脱衣室暖房機も同時に運転します。
●暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。
●浴室暖房乾燥機のリモコンで暖房運転を開始した場合、台所リモコンで暖房運転を停止できない機種があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで暖房運転を停止してください。

浴室暖房のみする場合

ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を 「暖房」の位置にし、浴室暖房設定 画面にする



設定スイッチ
を押すことに
順にバー表示
が移動します

バー表示＝「暖房」

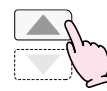


※下の表示が出た場合は、選択スイッチ(下)
で「浴室暖房」を選択し、浴室暖房設定画
面にしてください。



選択スイッチ(下)で選択

3 選択スイッチ(上)で 浴室暖房「入」にする



暖房中



点滅
燃焼時 表示

4 浴室暖房乾燥機の温度調節をする

浴室暖房乾燥機側で、能力を調節します。

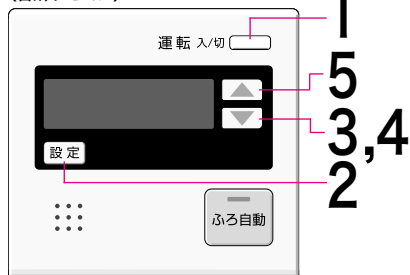
途中で浴室暖房をやめたいとき

- 1) 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」の
位置にし、浴室暖房設定画面にする。
- 2) 選択スイッチ(上)で、浴室暖房「切」にする。

使いかた (リモコン 138-3060型をお使いの場合)

静音設定する

(台所リモコン)



夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに、静音設定してください。

※静音設定できない製品もあります

静音設定のはたらき ▶▶▶

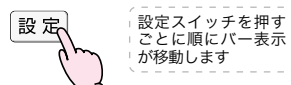
通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音設定することで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」の位置にする



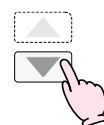
※放熱器の条件によって、設定スイッチを押したあとに出る表示が異なります。

この表示が出た場合は 次へ進んでください

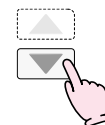
※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時=「切」)



3 選択スイッチ(下)で「浴室暖房」を選択する

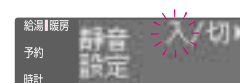
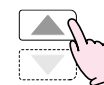


4 選択スイッチ(下)で「静音」を選択する



表示が異なる場合があります

5 選択スイッチ(上)で静音設定「入」にする



暖房時の運転音を下げて暖房の運転をします。
(このとき暖房能力は少し低下します。)

静音設定をやめたいとき

同じ手順で静音設定「切」にしてください。

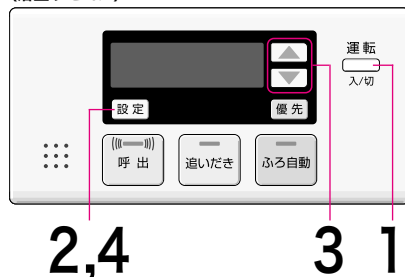
ここに記載の表示以外が出る場合は、このリモコンでの静音設定はできません。

使いかた

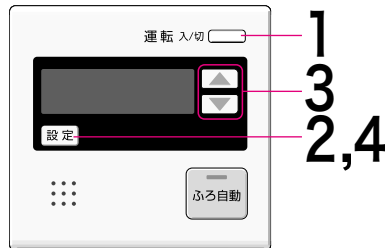
リモコンでこんな設定ができます

おふろの保温時間を変える	おふろが沸き上がったあとの保温時間を変更できます
リモコンの音量を変える	操作音・音声ガイドの音量変更のほか、音を消すこともできます
リモコンの音声ガイドを消す	音声ガイド「あり/なし」の切り替えができます
リモコンの表示の節電をする	表示の節電「する/しない」の切り替えができます
ふる配管クリーンをしない	ふる配管クリーン「する/しない」の切り替えができます
機器の水抜きをする	機器の水抜きをするときにのみ操作してください
リモコンに連絡先を表示する	サービスを依頼される場合などに連絡先(電話番号)を確認できます

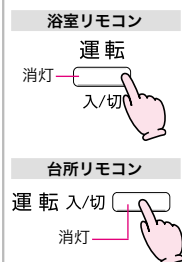
(浴室リモコン)



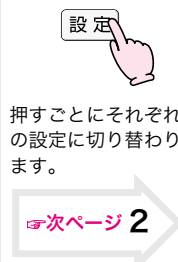
(台所リモコン)



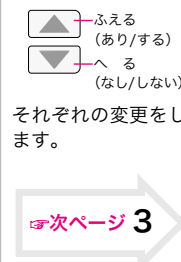
1 運転「切」にする



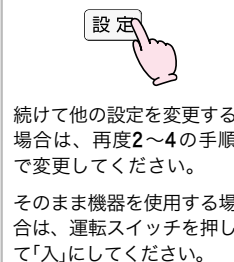
2 設定スイッチで変更したい設定を選ぶ



3 選択スイッチで変更する



4 設定が完了すれば設定スイッチを押す



＝初期設定(工場出荷時)

2 設定スイッチで選ぶ (押すごとに切り替わります)

3 選択スイッチで変更する

ふる保温時間		(単位:時間) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ↑ 保温なし
音量		なし *操作音・音声ガイドが消えます。 *呼び出し音と沸き上がりメロディは鳴ります。 小 中 大
音声ガイド		あり 音声ガイドでお知らせします なし 音声ガイドでお知らせしません
表示の節電		する 表示の節電をします(※P47) しない 表示の節電をせず、スクロール表示します(※P47)
ふる配管クリーン		する ふる配管クリーンをします(※P65) しない ふる配管クリーンをしません
機器の水抜き		機器の水抜きをするときに「する」を選択してください。(※P82)
連絡先表示		※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。 その場合はこの画面にはなりません。

凍結による破損を予防する -1

お願い

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

ますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

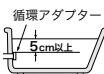
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。
(運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します。)

＊給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

＊水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

■ふろ配管を凍結予防するためには、浴そうの水を循環アダプター上部より5cm以上ある状態にする。



ポンプが自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。

■暖房回路を凍結予防するためには、ガス栓を開いたままにしておく。

＊自動的に暖房運転(燃焼)して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。
(放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができない場合があります)

＊不凍液を使用している場合もあります。(機器フロントカバー下部にラベルが貼ってある場合は不凍液を使用しています)

- ・不凍液は弊社指定品を使用してください。
- 指定以外の不凍液は、機器故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ・不凍液の取り扱い、不凍液の説明書に記載してある方法で正しく使用してください。

■冷え込みが厳しいとき(注)は、以下の処置をする。

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
※予熱給水のあたたかいお湯が出ます。
※場合によっては高温のお湯が出ることもありますので、注意してください。
3. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。



(注)外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日

＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。

＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。
※この処置でガス栓を閉めている間は、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。(暖房運転もしないでください)
機器の故障の原因となります。

凍結による破損を予防する -2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

注意



お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

- ・右ページイラストを参照してください。
- ・水抜き栓などから約2リットル以上(配管・設置条件によって量が異なります)のお湯または水が出ますので、機器の下に大きめの容器などを置いて排水を受けてください。

水抜きの前に

- 1 ガス栓を閉める。
- 2 給水元栓、予熱給水元栓を閉める。

機器の水抜き

- 3 浴そう内の水を完全に排水する。
- 4 1) リモコンの運転スイッチを「切」にする。
2) P44, 45 または P78, 79 の「各設定を変更する」の要領で「機器の水抜き」の設定をする。
(リモコン138-3060型の場合は[水抜き中]の表示が出ます)
3) 浴そうの循環アダプターから排水することを確認する。(注)
※約2分経過するとリモコンのお知らせ音(ビピ音)が鳴ります。

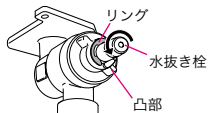
(注) ※ふろ側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。
※水抜きを中止する場合は、運転スイッチを「入」にしてください。
※水抜きの途中で電源プラグを抜かないでください。

- 5 すべての給湯栓を全開にする。
- 6 次の1)2)の手順で給湯水抜き栓①②を開ける。

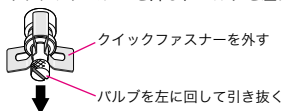


給湯水抜き栓①(予熱給水側)から高温のお湯が出ることがありますので注意してください。
やけど予防のため。

- 1) リングの切れ目が凸部に合うよう、水抜き栓の先端を回す。
- 2) 水抜き栓を押し込む。(排水します)



- 7 補給水バルブのクイックファスナーを外し、バルブを左に回して引き抜く。(排水します)



- 8 エアーチャージ栓を左に回して開ける。(排水します)



(つづく)

(つづき)

- 9 機器フロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する。

<不凍液が入っている場合> …… 以下の10の操作は必要ありません。
11の操作で水抜きをしてください。
<不凍液が入っていない場合> …… 以下の10,11の操作で水抜きしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

- 10 暖房水抜き栓①②③を左に回して開ける。(排水します)

- 11 4) 2)の操作から2分以上経過したあと、ふろ水抜き栓①②、ポンプ水抜き栓を左に回して開け、排水し、約3分そのままにする。

<暖房、ふろ、ポンプ水抜き栓>

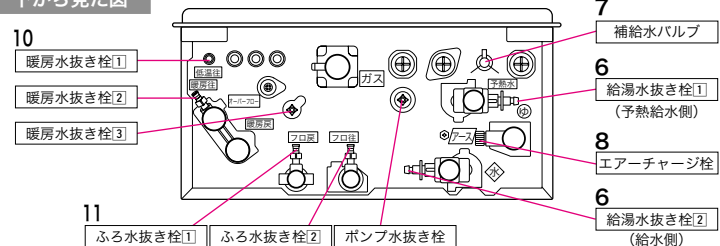


最後に

- 12 電源プラグを抜く。ぬれた手でさわらない

- 13 すべての排水されたことを確認したあと、
1) すべての水抜き栓・エアーチャージ栓を元どりに閉める。
(給湯水抜き栓の開めかた：水抜き栓をカチッと手応えがあるまで引き出し、リングの切れ目と凸部が合わないよう水抜き栓の先端を回しておく)
2) 補給水バルブを右に回して閉め、クイックファスナーを取り付け、そのままバルブを左に回してゆるめる。
3) すべての給湯栓を閉める。

下から見た図



水抜き後の再使用のとき

1. すべての水抜き栓・エアーチャージ栓が閉まっていること、補給水バルブが取り付けられていること、すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓、予熱給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
5. ポンプの呼び水をする。(P12)

※通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示《543》《173》が出る場合

放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

注意



点検・お手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

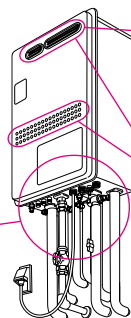
点検(月1回程度)

チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

➡ 燃えやすいものを置かない。(P8)

チェック *機器の外観に異常な変色や傷はないか？
*運転中に機器から異常音が聞こえないか？
*機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。



(例：135-6000 型)

チェック 排気口にススがついていないか？

➡ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 排気口・給気口がほりなどでふさがっているか？

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ(こまめに掃除)

循環アダプターのフィルター

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

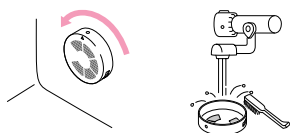
※運転「切」にしてからおこなってください。

※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

1 浴そうの循環アダプターのフィルターを左にまわして外し、掃除する

①左にまわして外し、

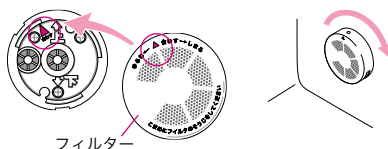
②歯ブラシなどで水洗いする



2 元どおりに取り付ける

①△同士を合わせてはめ込み、

②右に止まるまで回して固定する。



フィルター

お手入れ(月1回程度)

機器本体

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

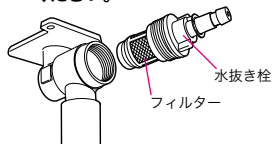
給湯水抜き栓(フィルター付)

給湯水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなる・あついお湯が出る・お湯にならない・機器が停止するなどの不具合が起こる場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

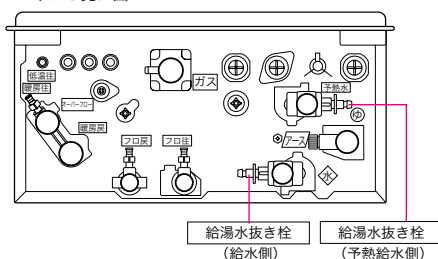
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

※お湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓、予熱給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 給湯水抜き栓(給水側と予熱給水側の2ヶ所)を回してフィルターを引き出す。
※このとき水(湯)が出るので注意してください。



<下から見た図>



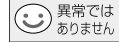
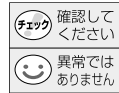
※配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります

4. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。
5. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
6. すべての給湯栓を閉める。
7. 給水元栓、予熱給水元栓を開け、それぞれの給湯水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

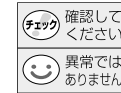
故障・異常かな？と思ったら-1



「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出てこない	チェック *ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ *断水していませんか？ *給湯栓は充分開いていますか？ *ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ *給湯水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？ (P85) *凍結していませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	スマイリー *機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	チェック *ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ *給湯温度設定は適切ですか？ (P24,25 または P54,55) スマイリー *水温が高いときに、低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。 *少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
高温のお湯が出ない	チェック *ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ *給湯温度設定は適切ですか？ (P24,25 または P54,55)
給湯栓を絞ると水になった 給湯栓を絞るとあつくなった	スマイリー *給湯栓から流れるお湯の量が少なすぎるため、機器側で制御できません。もう少しお湯を出してください。
設定した給湯温度よりも 高い温度のお湯が出る	スマイリー *停電や故障時にコージェネレーション設備や地域冷暖房設備によりあたためられた高温のお湯が出ることがあります。 シャワーやお湯の使用にお湯の温度が上がってきたら、すぐにお湯を体から離し、お湯の使用をやめてください。 チェック *故障表示「66C」が出ていませんか？ (P92)
運転スイッチ「切」なのに 高温のお湯が出る	スマイリー *給湯栓から少量しか出さない場合、運転スイッチ「切」でも、水圧の変化などによりコージェネレーション設備や地域冷暖房設備であたためられた高温のお湯が出ることがあります。 *シャワーなど使用中にお湯の温度が上がってきたら、すぐにお湯の使用を中止し、給湯栓を閉めてください。
お湯を出している間に 温度が変化する	スマイリー *お湯を止めた直後、再度お湯を出したときに、お湯の温度が変化することがあります。 *予熱給水を利用してお湯を出す機器のしくみ上、お湯の温度が変化することがあります。 *お湯を出している間にリモコンの運転「入・切」をすると、一時的に水が出る場合があります。
おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	チェック *ふろ温度設定は適切ですか？ (P30 または P60) *浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？ (P84) *浴そうの循環アダプターのフィルターは確実に取り付けられていますか？ 上下の向きを合わせて、右に止まるまで回して固定してください。 (P84)

(つづき)



(つづき)

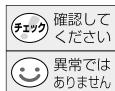
給湯温度の調節ができない	チェック *操作しているリモコンに優先切替していますか？ (P25 または P55)
ふろ設定温度どおりに 沸き上がらない	スマイリー *お湯はり中にふろ温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。
暖房運転中、 放熱器が止まったり 温度が下がったりする	スマイリー *追ひだき中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。 放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が 変化する	スマイリー *お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、おふろの自動沸かしをすると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 *給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 *お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
給湯栓から出るお湯の量が 極端に少なくなる	チェック *すぐに使用を中止し、給湯栓を閉めてください。 故障表示「161」か「66C」が出ていたら、修理を依頼してください。
給湯栓から出るお湯や お湯はりのお湯の量がいつも より少ない	スマイリー *コージェネレーション設備や地域冷暖房設備がメンテナンスなどで停止していると、通常よりもお湯の量が少なくなることがあります。
おふろの自動沸かしで、 設定した湯量にならない	チェック *浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？ (P84) *ふろ湯量設定は適切ですか？ (P31 または P61) スマイリー *おふろの自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 *残り湯によっては、沸き上がり量が異なる場合があります。(P29 または P59) チェック *上記を確認しても改善しない場合は、以下の要領で、記憶しているふろ湯量をリセットして、おふろの自動沸かしをしてください。 リモコン 138-3076型、138-3077型、138-3078型の場合 1) 浴そうが空の状態排水栓を閉じる。 2) 運転スイッチを「入」にし、ふろ湯量を初期設定「6」の位置に設定する。 3) 運転スイッチを「切」にし、たっぷりスイッチとぬるくスイッチを同時に2秒間押す。 リモコン 138-3060型の場合 1) 浴そうが空の状態排水栓を閉じる。 2) 運転スイッチ「入」にし、ふろ湯量を設定しなおす。 3) 運転スイッチ「切」にし、設定スイッチ「<u>設定</u>」とふろ自動スイッチを同時に2秒間押す。 (このとき「ふろ保温時間変更画面」が出る場合がありますが、異常ではありません。おふろ沸かし画面になり、おふろ沸かしをします。このおふろ沸かしは通常より時間がかかります) ※この操作をしても改善されないときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

(つづき)

故障・異常かな？と思ったら-2



(つづき)

おふろの沸き上がりに
時間がかかる

☺ *お湯はりに中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、お湯はりを中断するため、沸き上がりが遅くなります。

「リモコン」に関すること

リモコン 138-3076型, 138-3077型, 138-3078型の場合

運転ランプが点灯しない

☺ *停電していませんか？
*電源プラグが差し込まれていますか？

表示画面(液晶)が乱れている

☺ *リモコンを乾いた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。(30分以上放置しておくで正常に戻ります)

リモコンの時計表示が
「0:00」になっている

☺ *停電後、再通電すると時計表示が「0:00」になりますので時計合わせしなおしてください。なお、設定した給湯温度表示・ふる温度表示・ふる湯量表示などもお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので、確認してください。

リモコン 138-3060型の場合

運転ランプが点灯しない

☺ *停電していませんか？
*電源プラグが差し込まれていますか？

リモコンの時計表示が
「0:00」になっている

☺ *停電後、再通電すると時計表示が「0:00」になることがありますので、設定しなおしてください。

おふろの自動沸かし時、
台所リモコンに波表示しない

☺ *おふろの自動沸かしの予約中(タイマー表示🕒を表示中)は、波表示しません。

リモコンの画面表示が
いつのまにか消えている

☺ *表示の節電を「する」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(☞P47)
再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

リモコンの画面表示が
いつのまにか
流れるように動いている

☺ *機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(スクロール表示)(☞P47)
再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

スイッチを押しても
そのスイッチの動作をしない
(例)運転スイッチを押して
「切」にしたはずなのに
切れていない
など・・・

☺ <呼び出し・追いだき・ふる自動スイッチ以外のスイッチの場合>
*表示の節電中やスクロール表示中に、スイッチを1回押すとその状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。
運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。

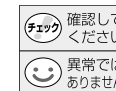
表示の節電の状態にならない

☺ *表示の節電「する」の設定になっていますか？(☞P79)

☺ *給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。

お湯を出しているのに
燃焼表示が点灯しない
(または、点灯したり消灯したりする)

☺ *予熱給水の温度に応じて機器の燃焼を制御しています。(☞P5「しくみ」)



「音」に関すること

浴そうの循環アダプターから
「ボコ、ボコ」と空気
の出る音がすることがある

☺ *おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。

運転を停止しても
しばらくの間ファンの
回転音(ブーン)がする
運転スイッチを「入・切」した
り、給湯栓を開閉したり、
機器の使用後しばらくすると
モーターが動く音(クックッ、
クー)がする

☺ *再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために、機器が作動している音です。

ポンプの回転音(ウーン)が
する

☺ *追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。
*おふろの自動沸かしの予約時、予約時刻の1〜2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。

*気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。
*長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用する
ときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1ヶ月ごと)

その他

使用中に消火した

☺ *ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
*断水していませんか？
*給湯栓は充分開いていますか？
*ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？

寒い日に排気口から
湯気が出る

☺ *冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

お湯が白く濁って見える

☺ *水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無
害なものです。

おふろの自動沸かしに
通常より時間がかかる

☺ *おふろの自動沸かし中にお湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯
で使うため、お湯はりに時間がかかります。

おふろの自動沸かしを始める
とにこったお湯が出る

☺ <ふる配管クリーンの設定(☞P45またはP79)をしていない場合>
*ふる自動沸かしを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。
特に入浴剤(にがり系)をご使用の場合には目立つ場合があります。

追いだきができない
追いだき中に消火した

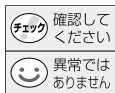
☺ *浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？
*ポンプの呼び水をしましたか？(☞P12)
*浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？
(☞P84)

エアーチャージ栓(過圧防止安全
装置)から、お湯(水)が少し
の間出ることがある

☺ *機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、エアー
チャージ栓から水滴が落ちることがあります。

(つづき)

故障・異常かな？と思ったら-3



(つづき)

浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	☺ *ふる自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
おふろを使用していないのに浴そうの循環アダプターからお湯が出る	☺ *浴そうのお湯(水)を排水したあと、ふる配管クリーンがはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。 *凍結予防のためポンプが回り、配管に残っている水が循環アダプターから出る場合があります。
ふる配管クリーンがはたらかない	☺ *次の場合は配管クリーンははたきません。 ・運転スイッチ「切」の場合 ・ふる自動スイッチ「入」の場合 (おふろの自動沸かしの途中や保温中の場合) ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・追いだき(☞P32またはP62)のみでおふろを沸かし上げたあと ・洗濯注湯ユニット(別売品)の使用または使用したあと (注湯のモードによっては、はたらく場合もあります) ・ふる配管クリーン「しない」設定の場合(☞P45またはP79)
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	☺ *水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。
追いだきしないのに浴そうの水が温くなる	☺ *暖房使用中に、ふるの凍結予防(ポンプ自動運転)がはたらくと、浴そうの水が温くなることがあります。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。

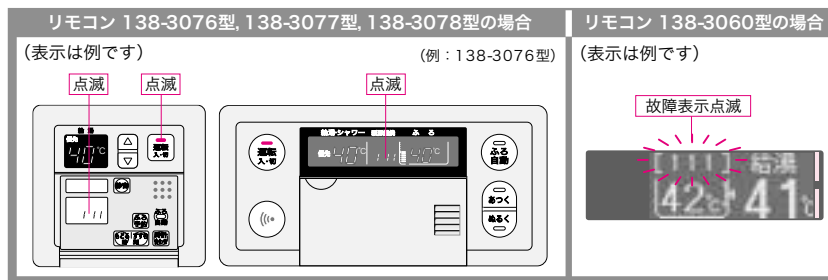


表 示	原 因	処 置
002	初めておふろの自動沸かしをするとき、浴そうに試運転時の水などが残っていたため	再度ふる自動スイッチを押すと故障表示が消えますので、次回おふろの自動沸かしをするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。(それ以降は残り湯があっても自動沸かしができます)
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を開め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
032	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓を閉め、再操作をして表示が出なければ正常です。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、欄外※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
113	ふろ側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、欄外※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、あつくスイッチまたは追いだきスイッチを押し、表示が出なければ正常です。
	暖房側の点火エラーが生じたため	運転スイッチと放熱器側の運転を「切」にし、欄外※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチと放熱器側の運転を「入」にして暖房運転をし、表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。その後、再度表示が出なければ正常です。
562	断水などで水が通っていないため (おふろの自動沸かし、追いだき、足し湯、さし水の時)	給水元栓が開いているか、断水していないか(カランから水が出るか)を確認し、いったん運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。

(つづく)

※111,113 確認事項
・ガス栓が開いているか
・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していないか

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

16号		全自動タイプ			
製品名	135-6000型	135-6002型	135-6005型	135-6006型	
型式名	GTHM-1631AWX3H	GTHM-1631AWX3H-T	GTHM-1631AWX3H-TB	GTHM-1631AWX3H-H	
種類	先止め式				
設置方式	屋外設置形				
点火方式	放電点火式				
使用水圧 (kPa)	294～981 (3.0～10.0kgf/cm ²) (196kPa設定の減圧弁使用時)				
水圧作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1kgf/cm ²)				
最低作動流量 (ℓ/分)	3.5				
外形寸法 (mm)	高さ750×幅480×奥行240				
質量 (本体) (kg)	45	46	46	47	
接続口径	ふる (行き・戻り)	QF16ジョイント			
	暖房 (行き・戻り)	高温行き・戻り…QF16ジョイント 低温行き…CHジョイント×3			
	給湯	R3/4			
	給水	R3/4			
	予熱給水	R3/4			
	ガス	R3/4			
電気関係	オーバーフロー	R1/2			
	電源	AC100V (50/60Hz)			
	消費電力(50/60Hz) (W)	255/300	295/335	290/330	285/325
	凍結予防ヒータ	155			
待機消費電力	運転スイッチ「入」約10W、「切」約5.5W <台所・浴室リモコン取付>				
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式				
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導電保護装置				

能力表

使用ガス		1時間当りのガス消費量 (最大消費量) (kW)			出湯能力(最大時) (ℓ/分)		予熱給水利用時の 最大出湯量 (ℓ/分)
		給湯暖房(ふる)併用	給湯側	暖房(ふる)側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス	13A	52.1	34.9	17.2	16	10	24

メモ



メモ欄として活用してください